

第2回 霧島市総合計画審議会

令和4年8月25日

霧島市企画政策課

本日の内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 前期基本計画の総括報告
 - (2) 市民参画の結果報告
 - (3) 策定作業の進捗状況
 - (4) 今後のスケジュール
 - (5) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

前期基本計画の総括報告

成果指標の達成状況

●成果指標とは

計画に掲げる施策の「達成度」を数値化したもの。

各施策に3～5つ設定している。

前期基本計画における成果指標数の総数は「120」

総合戦略のKPI(重要業績評価指標)と重複する指標数は「31」

種類	概要	設定数	把握年度
意識系	5年に1度調査する市民意識調査を利用	31	令和4年度
データ系	官公庁の統計データ等を利用	89	毎年度 (一部を除く)

●現時点(令和4年8月)での達成度

把握可能指標…103

100%以上達成指標…32 **31.4%** (32/103)

90%以上達成指標…59 **57.3%** (59/103)

総括報告の見方

政策ごとに、施策単位で、前期基本計画の4年間の主な取組を掲載しています。

例	施策名	主な取組
	地域経済を支える商工業の振興	コロナ禍での経済対策、ふるさと納税による売上げ増加、創業支援、空き店舗リノベーション講座、「ゲンセン霧島」の販促

次頁で、主な取組と関連度が高い主な成果指標を掲載しています。

赤字は市民意識調査で把握(評価年度は2022年度)した指標、青字は総合戦略のKPIと重複する指標。達成率は◎が100%以上、○が90%以上です。

例	成果指標 (意図の達成度を表す指標)	単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
										結果
	商工業に活気があると思う市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	38.0	40.0	42.0	44.0	46.0	88.0%
				実績値	-	-	-	-	40.5	△
	誘致企業の雇用者数	人	更なる増加を目指します	目標値	10,600	10,700	10,800	10,900	11,000	101.0%
				実績値	11,171	11,408	11,203	11,038	-	◎
	市が運行主体である循環バス・観光バスの1便当たりの利用者数	人	更なる増加を目指します	目標値	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	34.0%
				実績値	5.2	5.0	3.6	3.7	-	△

政策1 にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)

施策名	主な取組
地域経済を支える商工業の振興	コロナ禍での事業継続支援給付金・プレミアム付商品券発行、ふるさと納税による売上げ増加、創業支援センター設置、空き店舗のリノベーション、「ゲンセン霧島」認定品の販促
強みを生かした企業誘致と雇用の促進	積極的な企業誘致(23件、468人雇用創出)、学生向けの企業説明会・見学会、障がい者・高齢者等の就労支援、人材不足業種と求職者のマッチング支援
活力ある農・林・水産業の振興	農林水産業の担い手確保や経営支援、ほ場等の生産基盤の整備、鳥獣被害防止対策、霧島茶のブランド力向上
地域特性を生かした観光の推進	シティセールス活動やSNS・メディアを活用した観光PR、日当山西郷どん村の整備・活用、観光素材の発掘・活用、観光周遊バス
持続可能な地域公共交通ネットワークの構築	ふれあいバス・デマンド交通等の運行(一部にバスロケーションシステム導入)、路線バスへの支援、JR隼人駅のバリアフリー化

政策1 にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)

成果指標 (意図の達成度を 表す指標)	単位	目標達成の 方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
商工業に活気があると思う 市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	38.0	40.0	42.0	44.0	46.0	88.0%
			実績値	-	-	-	-	40.5	△
誘致企業の雇用者数	人	更なる増加を目標 指します	目標値	10,600	10,700	10,800	10,900	11,000	101.0%
			実績値	11,171	11,408	11,203	11,038	-	◎
高校卒業時の地元就職率	%	更なる増加を目標 指します	目標値	32.5	35.0	35.0	35.0	35.0	98.0%
			実績値	36.9	34.3	31.1	34.2	-	○
大学卒業時の地元就職率	%	更なる増加を目標 指します	目標値	18.5	23.0	23.0	23.0	23.0	55.0%
			実績値	9.0	11.8	7.6	12.7	-	△
新規就農者数	人	更なる増加を目標 指します	目標値	10	10	10	10	10	50.0%
			実績値	17	11	10	5	-	△
開発又は磨き上げた観光 資源の数(累計)	本	更なる増加を目標 指します	目標値	47	49	51	53	55	104.0%
			実績値	51	53	53	55	-	◎
日常生活で移動に不便を感じ ている市民の割合	%	更なる減少を目標 指します	目標値	41.0	39.5	39.0	38.5	38.0	97.0%
			実績値	-	-	-	-	39.2	○
市が運行主体である循環バ ス・観光バスの1便当たりの 利用者数	人	更なる増加を目標 指します	目標値	11	11	11	11	11	34.0%
			実績値	5.2	5.0	3.6	3.7	-	△

前期基本計画の総括報告

政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

施策名	主な取組
人と自然が共生し快適で良好な生活環境の形成	出前講座・環境学習会、合併処理浄化槽への転換促進、下水道整備の拡大
地球にやさしい循環型社会の形成	ごみ減量化・資源化・地球温暖化対策の意識啓発、(仮称)霧島市クリーンセンターの整備推進、再生可能エネルギーの導入促進
快適生活の基盤づくりの推進	市全域の光ブロードバンド整備、市営住宅の改修、麓第一土地区画整理事業の完成、水道管の耐震化、バイパス道路等の整備
地域特性に応じた魅力ある空間の形成	規制・誘導による適切な開発促進、公園の整備・維持、景観維持、空き家バンク制度の活用、危険空き家の撤去
危機管理・防災力の充実と防災意識の向上	災害に強い道路や施設等の整備による災害抑止、講座等による自助・共助力の育成、消防団加入促進、きりしま防災・行政ナビ(アプリ)の導入
市民生活の安全性の向上	ロードミラー等の交通安全施設の整備、高齢者の運転免許返納促進、消費生活センターの周知

政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

成果指標 (意図の達成度を 表す指標)	単位	目標達成の 方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
自然環境が保全されている と感じる市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	74.0	76.0	78.0	79.0	80.0	91.0%
			実績値	-	-	-	-	72.6	○
生活環境が向上していると 感じる市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	57.0%
			実績値	-	-	-	-	27.3	△
市民一人1日当たりの家庭 系ごみの排出量	g/人 日	更なる減少を目標 指します	目標値	630.0	625.0	624.0	622.0	620.0	98.0%
			実績値	629.0	630.9	651.7	636.9	-	○
再生可能エネルギー導入 容量	kW	更なる増加を目標 指します	目標値	317,141	353,072	357,530	364,579	392,399	94.0%
			実績値	306,787	323,101	332,979	341,669	-	○
ゆとりある住みやすいまち であると感じている市民の 割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	57.4	58.1	58.7	59.4	60.0	108.0%
			実績値	-	-	-	-	64.7	◎
超高速ブロードバンド整備 率	%	更なる増加を目標 指します	目標値	80	83	86	89	92	106.0%
			実績値	81	87	90	95	-	◎
空き家の利活用件数	件	更なる増加を目標 指します	目標値	5	5	5	5	5	320.0%
			実績値	12	16	22	16	-	◎
防災に対する何らかの取組 を行った市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	75.1	77.8	80.5	83.2	86.1	93.0%
			実績値	-	-	-	-	80.1	○

政策3 やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)

施策名	主な取組
健康づくりの推進と医療体制の充実	医師会医療センター整備の推進、新たな保健センター整備の検討、生活習慣病予防、自殺対策、新型コロナ対策、夜間休日の救急医療体制の強化
安心して子どもを産み育てられる環境の充実	こども館の開館、母子健康コーディネーター配置、不妊治療費助成、粉ミルク支給、保育所や児童クラブの整備・支援、地域子育て支援センターの設置、産後健診の開始
住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進	地域の集い場「地域のひろば」の拡大、老人ホーム等への入所支援、高齢者の生活の相談体制の強化、行方不明者の早期発見に資する「みまもりあいアプリ」普及啓発、いきいきチケット交付
共生社会実現に向けた障がい児(者)の支援	基幹相談支援センターの設置、障がい者支援(ヘルプマーク等)の広報、発達相談・療育支援・自立支援等の推進
社会保障制度の円滑な運営	生活困窮者への適切な支援(生活保護)、特定健診・長寿健診の促進、医療費抑制、介護保険サービスの安定運営

政策3 やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)

成果指標 (意図の達成度を 表す指標)	単位	目標達成の 方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	52.6	53.1	53.6	54.1	54.6	105.0%
			実績値	-	-	-	-	57.3	◎
予防接種率	%	更なる増加を目指します	目標値	95	95	95	95	96	98.0%
			実績値	94	92	99	93	-	○
自殺死亡率(人口10万人あたり)	-	更なる減少を目指します	目標値	15.2	15.0	14.7	14.4	14.1	72.0%
			実績値	16.6	25.4	19.1	18.4	-	△
妊娠・出産について満足している市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	81.6	82.4	83.3	84.2	85.0	110.0%
			実績値	85.4	90.5	91.1	93.0	-	◎
乳幼児健診受診率	%	更なる増加を目指します	目標値	96	96	97	97	97	101.0%
			実績値	96	97	98	97	-	◎
障害児通所支援を利用している子どもの数	人	更なる増加を目指します	目標値	870	920	970	1,020	1,070	111.0%
			実績値	1,098	1,133	1,042	1,131	-	◎
国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	円	増加の抑制を目指します	目標値	459,000	468,000	478,000	487,000	497,000	101.0%
			実績値	467,589	478,316	466,542	484,449	-	◎
就労等により自立した生活保護世帯数	世帯	更なる増加を目指します	目標値	50	50	50	50	50	80.0%
			実績値	26	22	25	40	-	△

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

施策名	主な取組
立志と将来への希望を育む学校教育の充実	タブレット端末の全児童1人1台導入、「霧島しごと維新」等による児童生徒のキャリア教育、学校施設の大規模改修・空調整備・トイレ洋式化、国分中央高校の環境整備
多様な学びを支援する社会教育の充実	「きりしまっ子立志育成事業」による児童生徒の協調性の育成、公民館講座の充実、図書館のICT化、文化財教育の推進
次世代へつなぐ芸術文化活動の推進	きりしま美術大賞展の開催、霧島国際音楽祭の支援、児童生徒芸術鑑賞事業、芸術文化団体への支援
スポーツを楽しむ環境づくりの推進	スポーツ協会や地域との連携による運動機会の提供、スポーツキャンプ・合宿等の誘致、スポーツ施設の改修・維持管理、かごしま国体への準備

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

成果指標 (意図の達成度を 表す指標)	単位	目標達成の 方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
将来の夢や目標を持っている 児童生徒の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	63.0	64.0	64.0	65.0	65.0	83.0%
			実績値	61.0	59.2	78.8	53.7	-	△
学習定着度調査における平均 正答率の県との比較	ポイント	更なる増加を目標 指します	目標値	-0.5	0.0	0.5	1.0	1.5	-
			実績値	-3.4	2.7	-2.7	-1.3	-	△
体力テスト(小・中学校)に おける平均値の県との比較	ポイント	更なる増加を目標 指します	目標値	0.7	1.2	1.2	1.7	1.7	-
			実績値	-0.4	0.2	-1.8	-1.5	-	△
学習している市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0	89.0%
			実績値	-	-	-	-	50.9	△
公民館定期講座申込者に 占める新規申込者の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	65	68	71	74	77	97.0%
			実績値	69	70	60	72	-	○
過去1年間の文化財保存・ 伝承活動の実践者及び参加 者の人数	人	更なる増加を目標 指します	目標値	11,100	11,200	11,300	11,400	11,500	46.0%
			実績値	10,640	9,425	3,971	5,299	-	△
芸術文化に親しんでいる市 民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	54.3	91.0%
			実績値	-	-	-	-	49.6	○
日頃から運動・スポーツを 行っている市民の割合	%	更なる増加を目標 指します	目標値	64.0	66.0	68.0	70.0	71.5	90.0%
			実績値	-	-	-	-	64.3	○

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

施策名	主な取組
市民参画でつながる地域社会の形成	地区自治公民館・市民団体への支援、国内外の都市交流、外国人への共生ガイドブック作成
人権の尊重と男女共同参画の推進	人権に関する教育・講座・情報発信、配偶者暴力相談支援センター設置、平和教育の推進
活力ある地域づくりの推進	地域おこし協力隊の設置、大学生等との連携による地域支援、移住・定住促進支援・PR活動(移住定住補助金、移住体験・相談会)、出会いサポートセンターとの連携による出会いの創出
市の魅力と価値を高める多角的施策の展開	霧島ジオパーク協議会へ湧水町が加入、2回目の日本ジオパーク再認定、広域連携による事業の実施、企業等との包括連携による取組、シティプロモーション(キラシマイスター活動)の推進

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

成果指標 (意図の達成度を 表す指標)	単位	目標達成の 方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
まちづくり活動に参加している市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	98.0%
			実績値	-	-	-	-	58.0	○
自治会加入率	%	更なる増加を目指します	目標値	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	83.0%
			実績値	60.2	58.0	57.8	56.5	-	△
男女の地位の平等感(家庭及び職場において「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合)	%	更なる減少を目指します	目標値	34.3	33.8	33.2	32.6	32.0	61.0%
			実績値	-	-	-	-	44.4	△
ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	84.4	85.4	86.4	87.4	87.8	100.0%
			実績値	-	-	-	-	88.0	◎
霧島市に住み続けたいと思う人の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	80.0	80.5	81.0	81.5	82.0	100.0%
			実績値	-	-	-	-	82.2	◎
相談窓口を経た移住者数	人	更なる増加を目指します	目標値	220	220	220	220	220	90.0%
			実績値	203	314	181	198	-	○
転入者数-転出者数	人	減少の抑制を目指します	目標値	-200	-150	-100	-50	0	882.0%
			実績値	-341	-128	398	341	-	◎
産学官連携により取り組んだ件数	件	更なる増加を目指します	目標値	8	9	10	11	12	227.0%
			実績値	9	10	11	25	-	◎

政策6 しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)

施策名	主な取組
市民の視点に立った行政サービスの提供	市長とふれあいミーティング実施、広報誌・SNS・FMラジオ等での情報発信、職員提案制度の再構築、公共施設の指定管理
持続可能な財政運営の推進	アプリ導入等による納税環境の整備、持続可能な財政運営のための計画策定、未利用財産売却や民営化による公共施設の総量縮減

成果指標 (意図の達成度を表す指標)	単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率
									結果
市民の意見や実態が市政に反映されていると認識している市民の割合	%	更なる増加を目指します	目標値	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0	79.0%
			実績値	-	-	-	-	27.7	△
市ホームページのアクセス件数	件	更なる増加を目指します	目標値	496,000	499,500	503,000	506,500	510,000	299.0%
			実績値	420,565	528,216	1,064,616	1,516,946	-	◎
公の施設の利用者満足度	%	更なる増加を目指します	目標値	59.0	60.5	62.0	63.5	65.0	102.0%
			実績値	67.0	-	63.2	64.7	-	◎
基金残高(財政調整基金、減債基金、特定建設事業基金の残高合計)	億円	減少の抑制を目指します	目標値	-	122	103	84	66	93.0%
			実績値	136	152	144	78	-	△

本日の内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 前期基本計画の総括報告
 - (2) 市民参画の結果報告
 - (3) 策定作業の進捗状況
 - (4) 今後のスケジュール
 - (5) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

市民参画の結果報告

市民意識調査

総合計画等に市民の意識を反映させるため、以下の概要で実施。

●期間:5月6日(発送)～5月25日(20日間) ●回答方法:郵送・Web回答

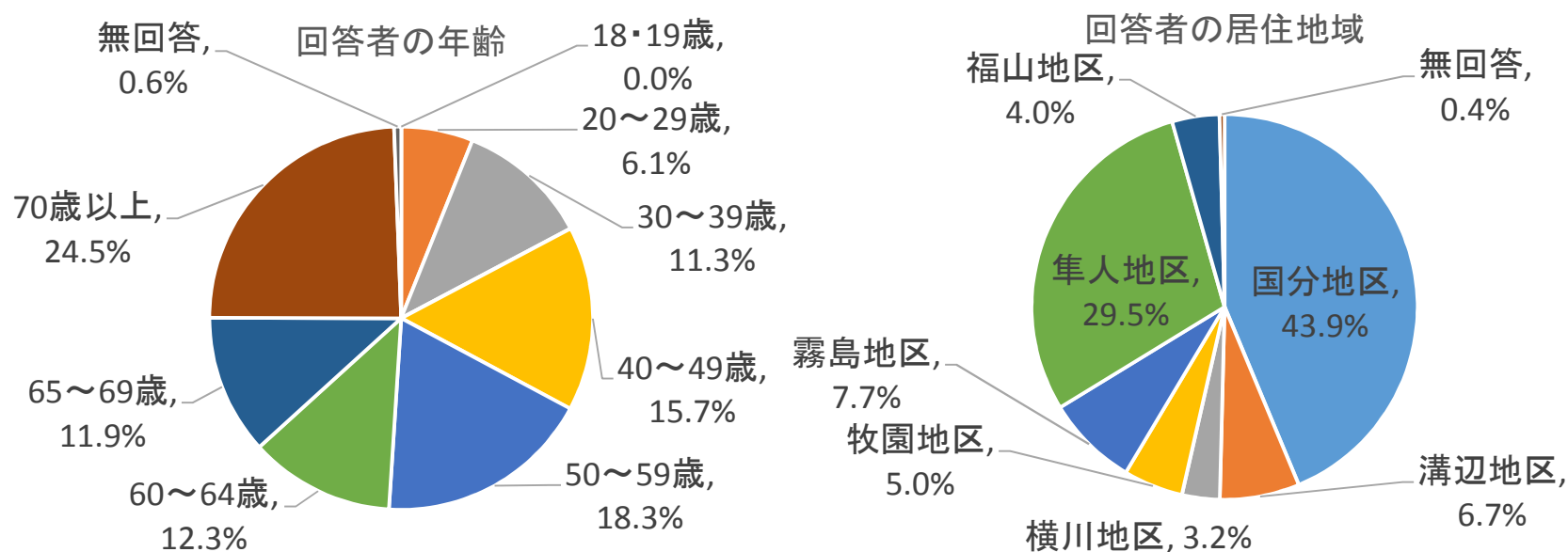
用途	総合計画		総合戦略	
対象	20歳以上の市民	20歳～59歳までの市民	市内の高校・高専・大学に在学する学生等	市内に事務所を持つ地元企業
	7,000人	3,500人	1,300人	500社
目的 (○新規)	<p>●前期基本計画の31個の意識系成果指標(※)の実績値 (=後期基本計画に設定予定の基準値)の把握</p> <p>○令和4年に策定予定の個別計画に必要な調査項目の測定</p> <p>※「～と思う割合」などアンケート等で計測する指標</p>	<p>●結婚・出産を促す施策の資料として活用</p> <p>●今後取り組むべきまちづくりのニーズ掘り起し</p> <p>○国の総合戦略(デジタル・グリーン)の観点に関する意識を調査</p>	<p>●若年層の流出抑制策の資料として活用</p> <p>○国の総合戦略(デジタル)の観点に関する意識を調査</p>	<p>●雇用のミスマッチの現状把握</p> <p>●雇用促進策の資料として活用</p> <p>●学術機関との連携可能性を把握</p> <p>○国の総合戦略(デジタル・グリーン)の観点に関する意識を調査</p>

市民意識調査

●用途：前期基本計画の総括、後期基本計画の策定

●対象：20歳以上の市民7,000人

●回答率：40.36%（前回の平成29年は40.05%）

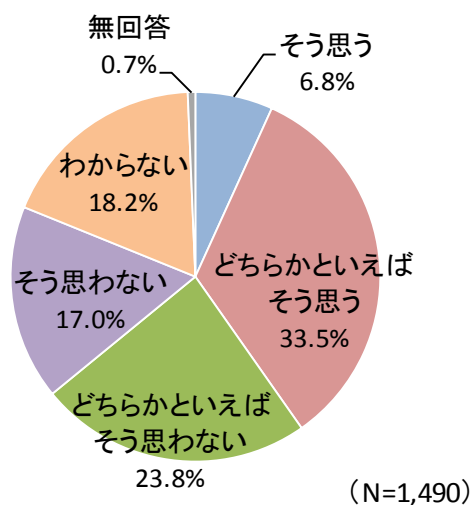


市民意識調査

政策1 にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)

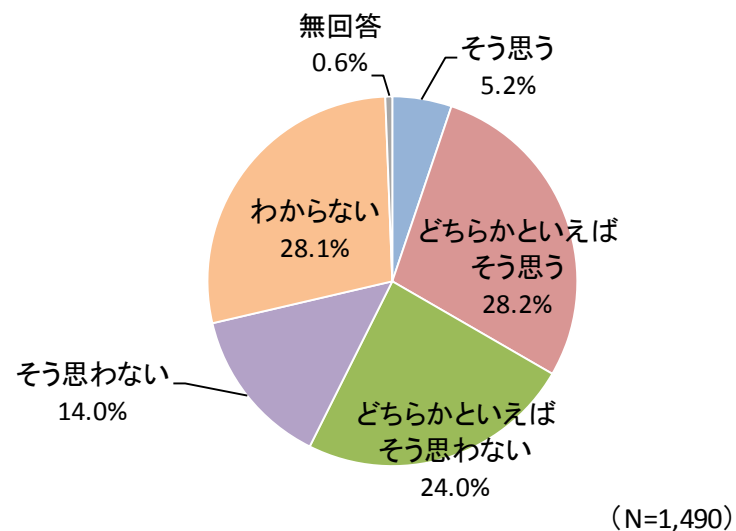
● 施策1-1 地域経済を支える商工業の振興

(1) 商工業は活気があると思うか



● 施策1-3 活力ある農・林・水産業の振興

(2) 農林水産業の生産・流通等は活気があると思うか

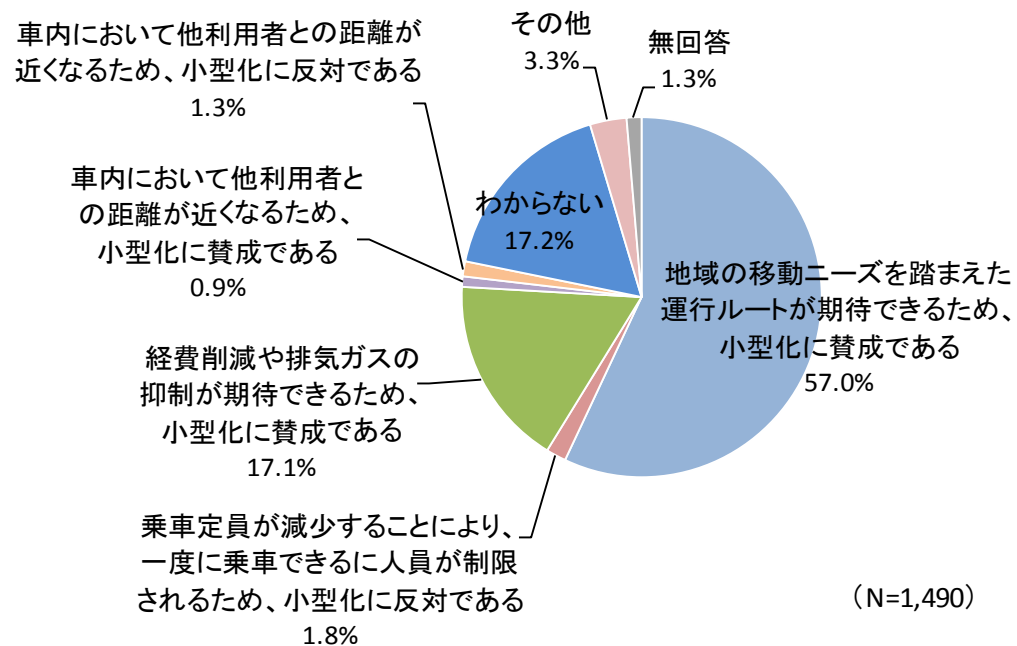
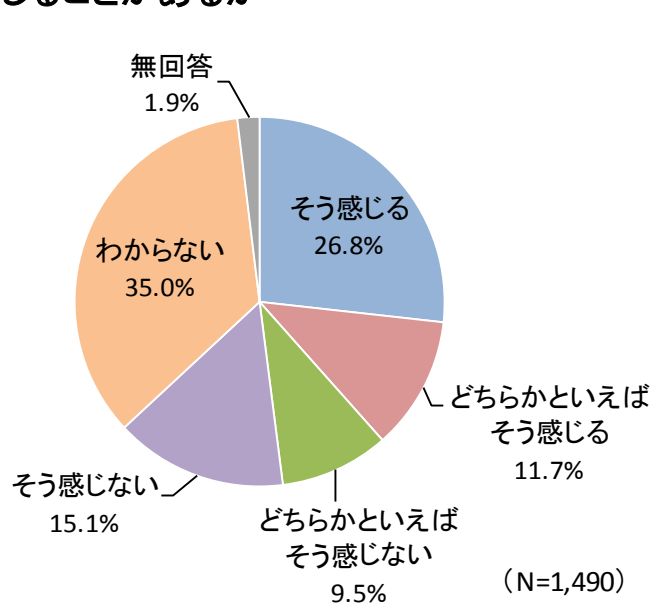


市民意識調査

政策1 にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)

● 施策1-5 持続可能な地域公共交通ネットワーク の構築

(3) 公共交通機関を使って移動するときに不便に感じることもあるか (4) バスの効率的運行に対する意向



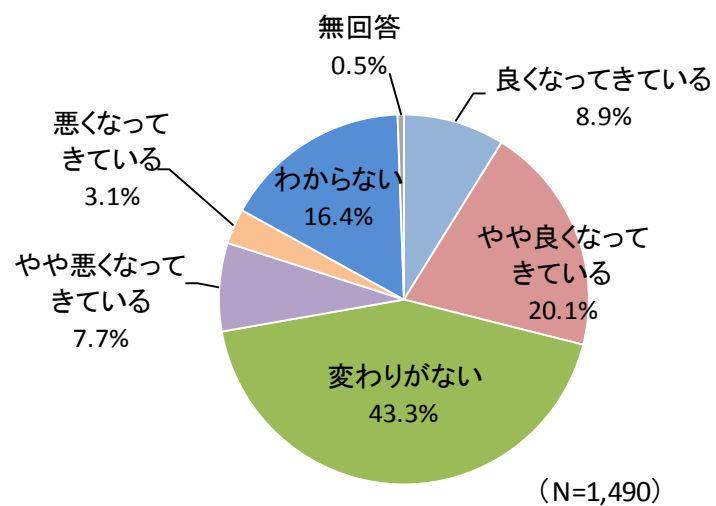
市民意識調査

政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

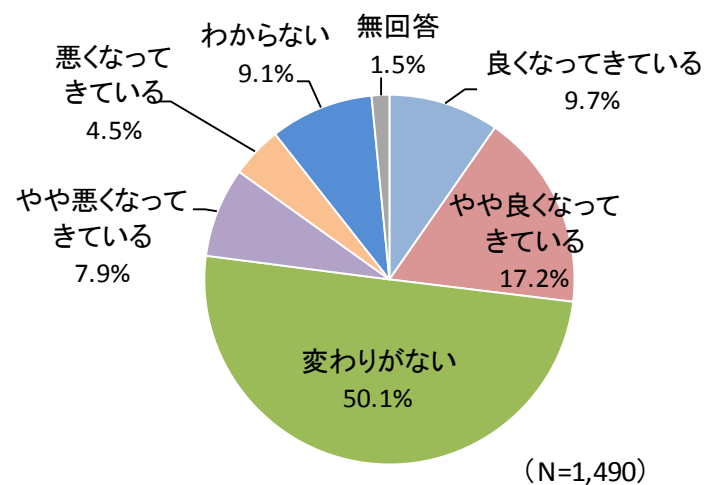
● 施策2-1

人と自然が共生し快適で良好な生活環境の形成

(5) 2、3年前と比べた市域の自然環境について



(6) 2、3年前と比べた身近な生活環境について



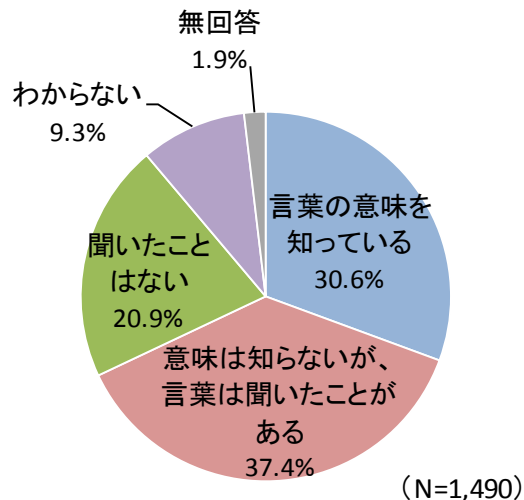
市民意識調査

政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

●施策2-1

人と自然が共生し快適で良好な生活環境の形成

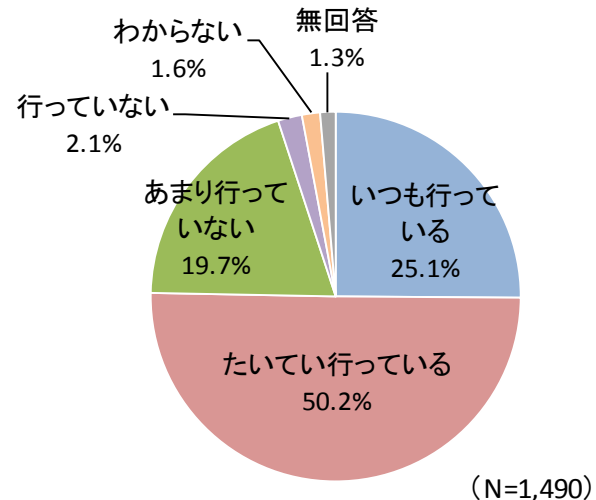
(7) 生物多様性という言葉を知っているか



●施策2-2

地球にやさしい循環型社会の形成

(8) 日頃よりごみを減らすようにしているか

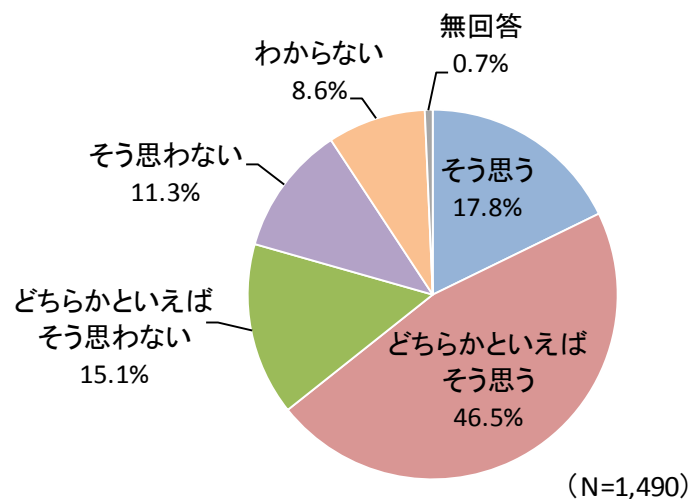


市民意識調査

政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

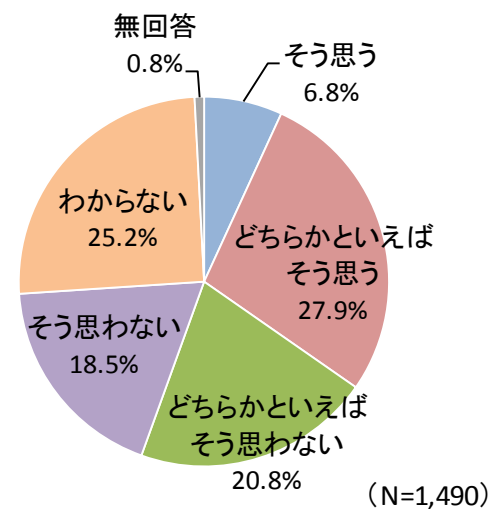
● 施策2-3 快適生活の基盤づくりの推進

(9) ゆとりある住みやすいまちと思うか



● 施策2-4 地域特性に応じた魅力ある空間の形成

(10) 地域に合わせた土地利用と秩序ある開発が行われていると思うか



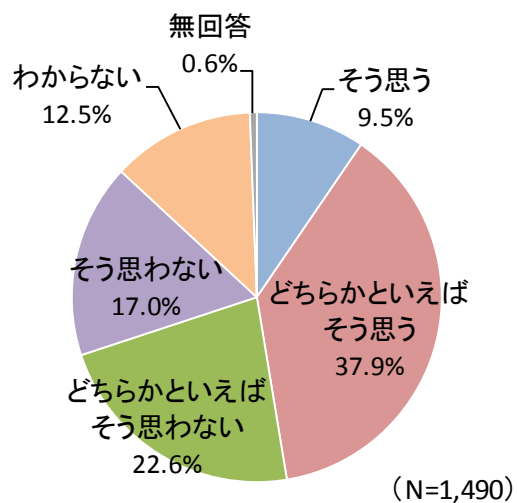
市民意識調査

政策2 くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

● 施策2-4

地域特性に応じた魅力ある空間の形成

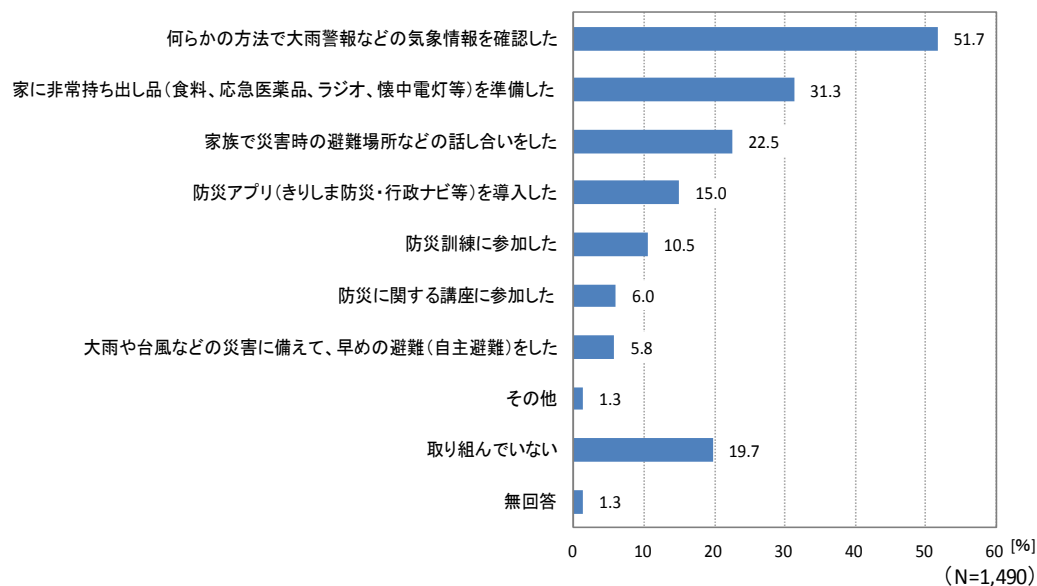
(11) 地域に合った景観整備がなされ街並みが良好と思うか



● 施策2-5

危機管理・防災力の充実と防災意識の向上

(12) 防災に関する何らかの取組を行ったか

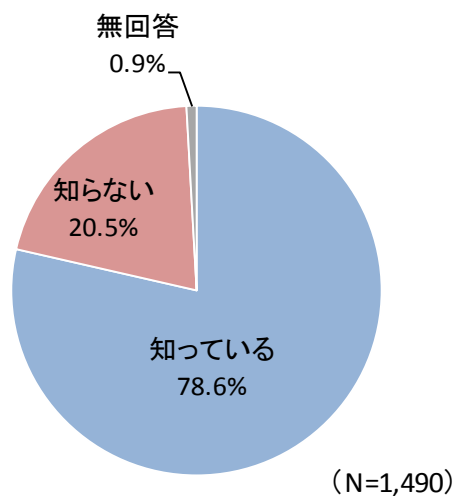


市民意識調査

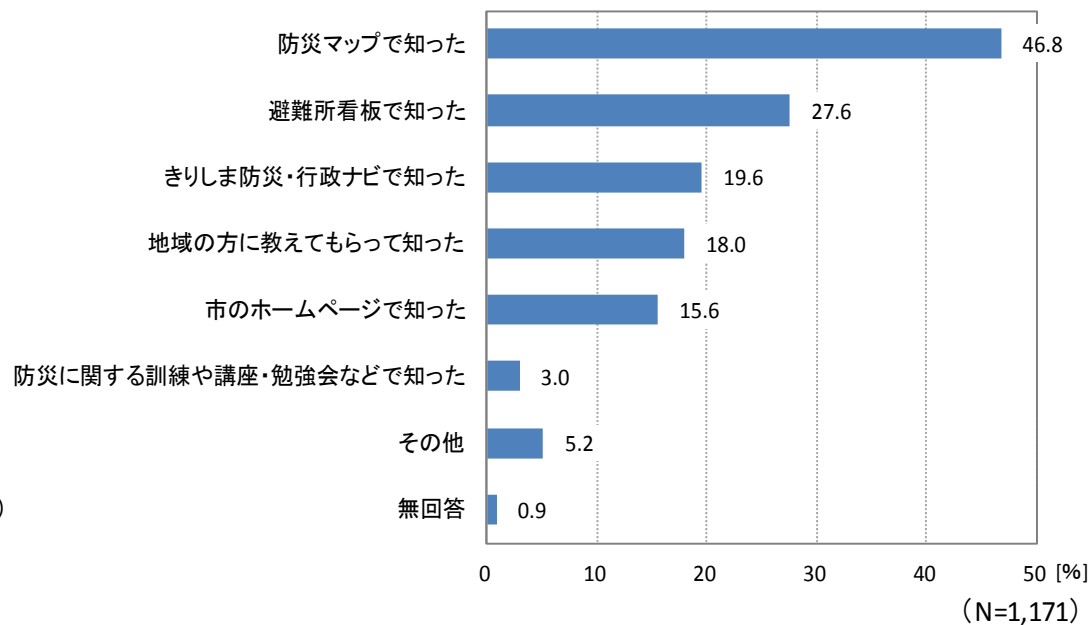
政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

● 施策2-5 危機管理・防災力の充実と防災意識の 向上

(13) 災害時に避難所となる施設を知っているか



(14) 災害時に避難所となる施設を知った方法

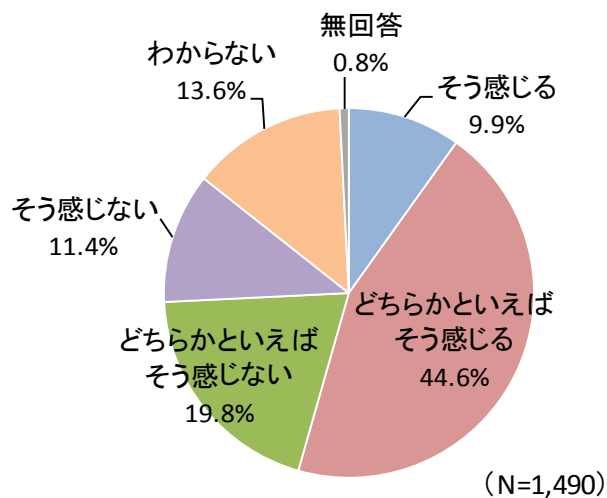


市民意識調査

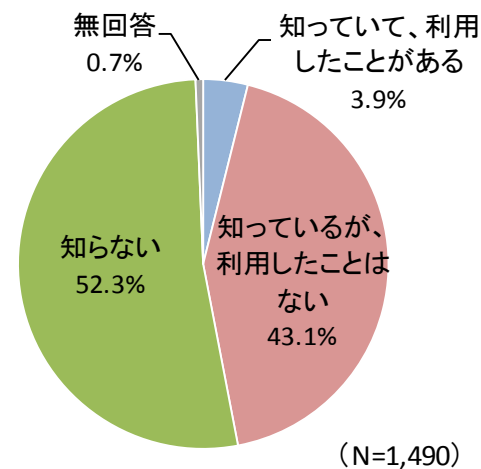
政策2 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)

● 施策2-6 市民生活の安全性の向上

(15) 交通安全や防犯の対策が充実するなど「安心・安全に生活できる」と感じるか



(16) 霧島市に消費生活センターがあることを知っているか

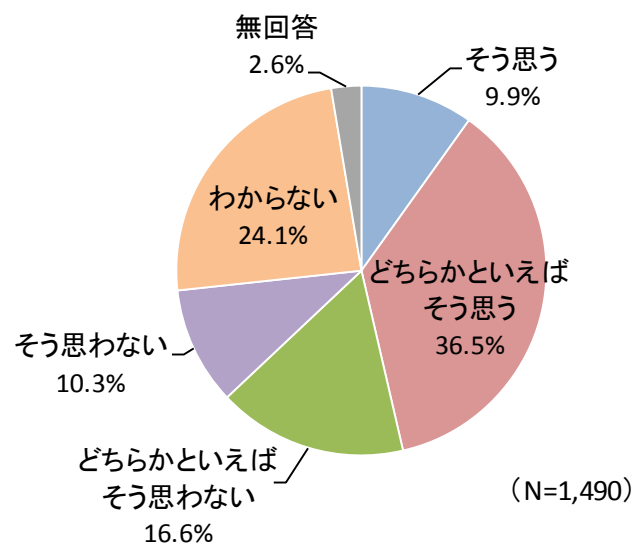


市民意識調査

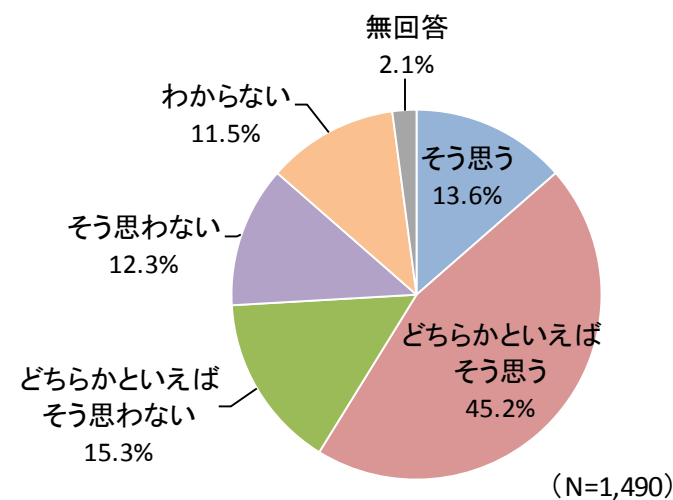
政策3 やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)

● 施策3-1 健康づくりの推進と医療体制の充実

(17) 霧島市は健康づくりへの支援が充実していると思うか



(18) 霧島市は医療体制が充実していると思うか

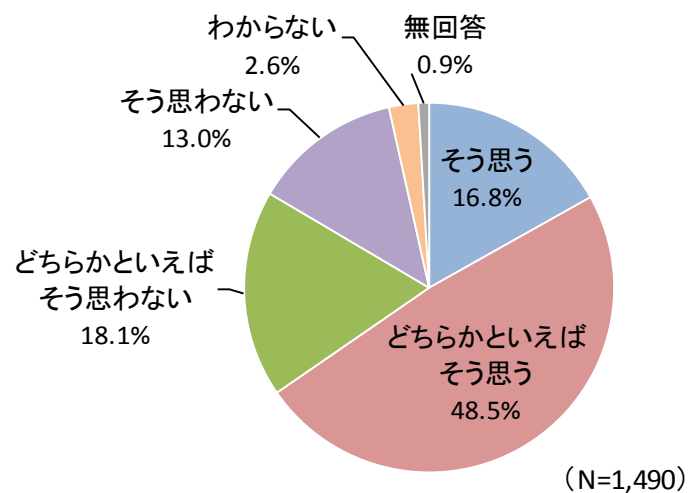


市民意識調査

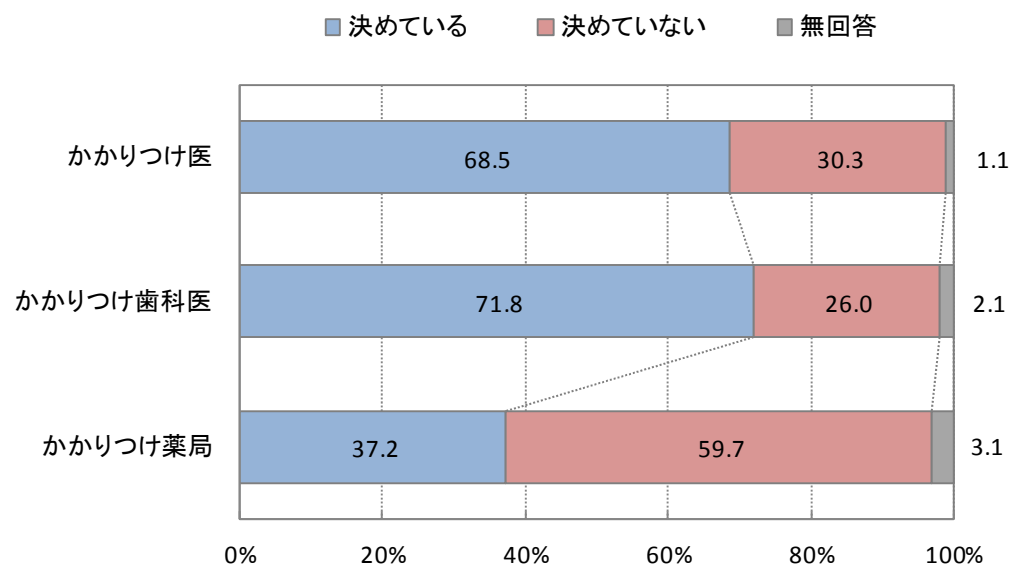
政策3 やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)

● 施策3-1 健康づくりの推進と医療体制の充実

(19) 自分自身が心身共に健康と思うか



(20) 「かかりつけ」を決めているか



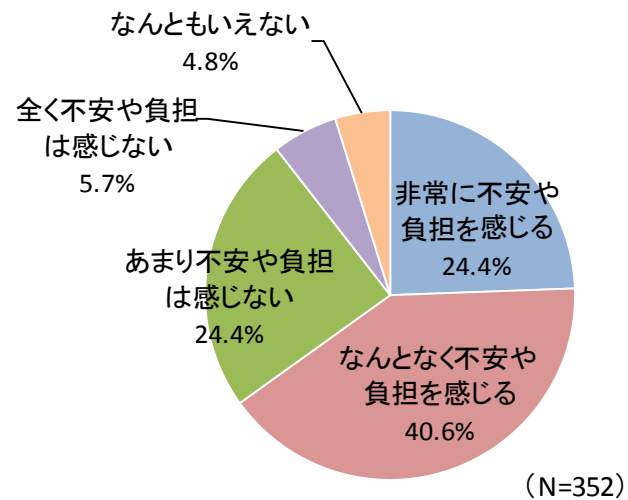
市民意識調査

政策3 やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)

● 施策3-2

安心して子どもを産み育てられる環境 の充実

(21) 子育てに関して不安感や負担感などを感じ
ているか



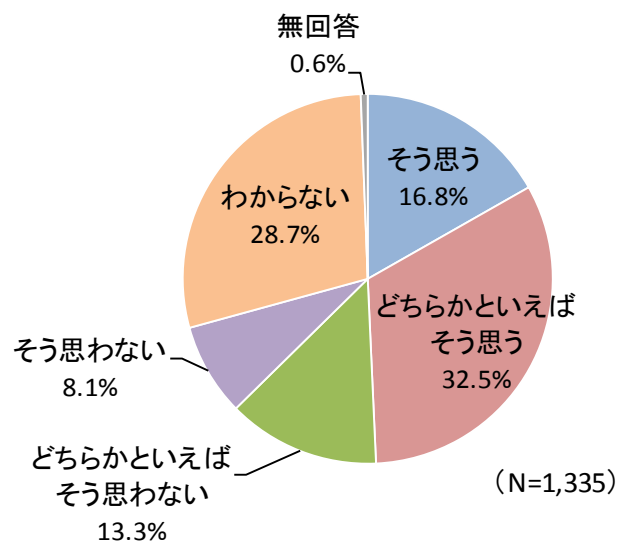
市民意識調査

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

●施策4-1

立志と将来への希望を育む学校教育の充実

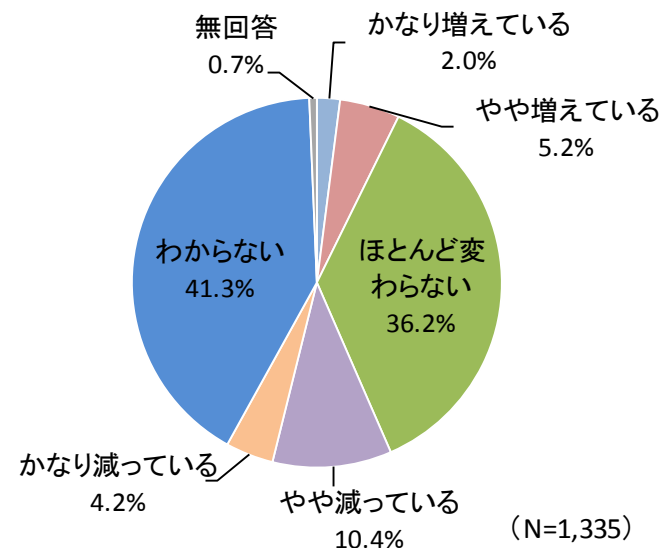
(22) 小・中学生のあいさつや交通ルールを守るマナーが2、3年前と比べて良くなっていると思うか



●施策4-2

多様な学びを支援する社会教育の充実

(23) 青少年(6歳以上18歳以下)の「社会のルールを守らずに他人に迷惑をかけるという行動」が、2、3年前と比べて増えていると思うか



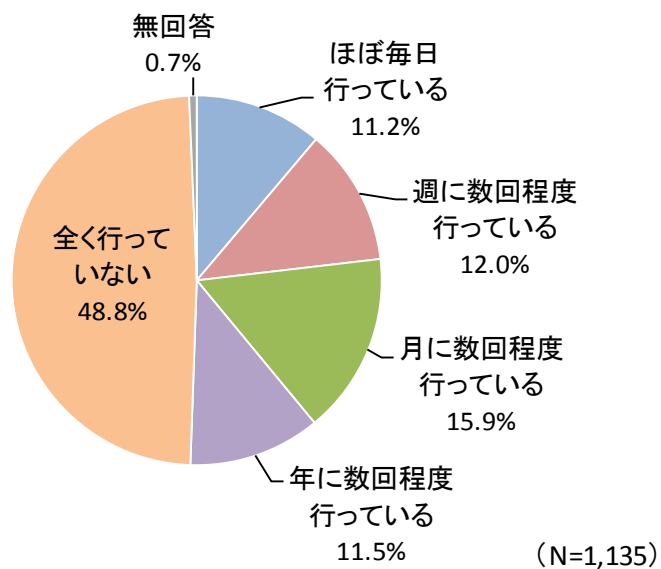
市民意識調査

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

●施策4-2

多様な学びを支援する社会教育の充実

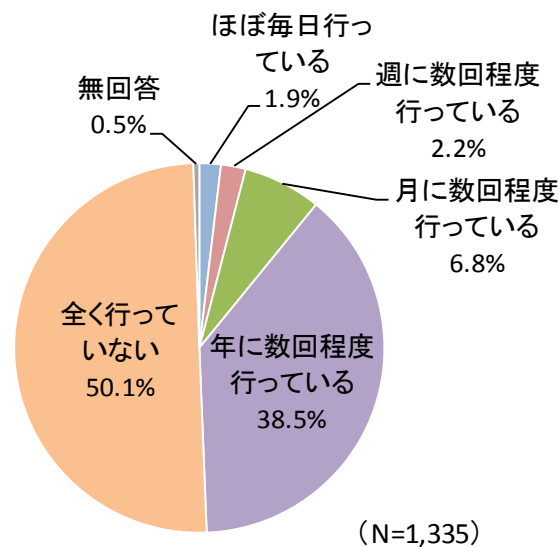
(24) 日頃から何らかの学習を行っているか



●施策4-3

次世代へつなぐ芸術文化活動の推進

(25) 日頃から文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりすることがあるか

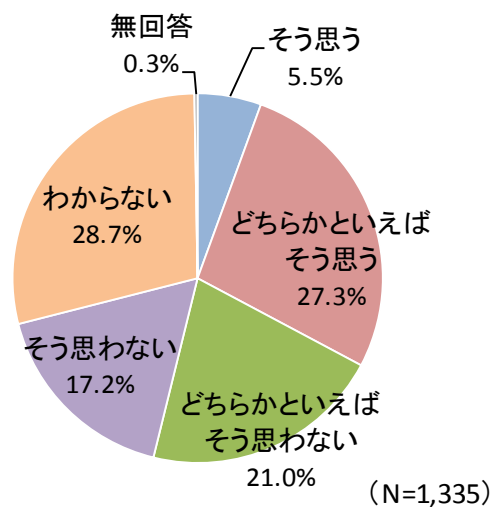


市民意識調査

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

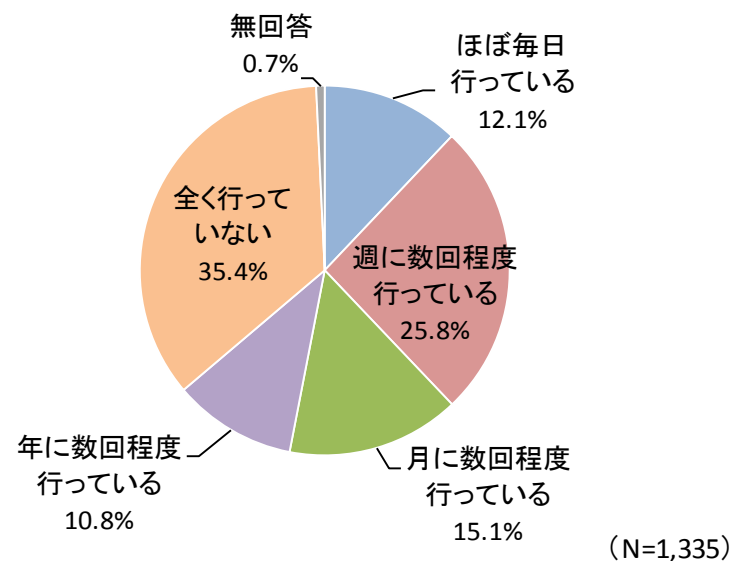
● 施策4-3 次世代へつなぐ芸術文化活動の推進

(26) 文化や芸術を鑑賞したり、自ら行ったりしやすい環境が整っていると思うか



● 施策4-4 スポーツを楽しむ環境づくりの推進

(27) 日頃から何らかの運動・スポーツを行っているか

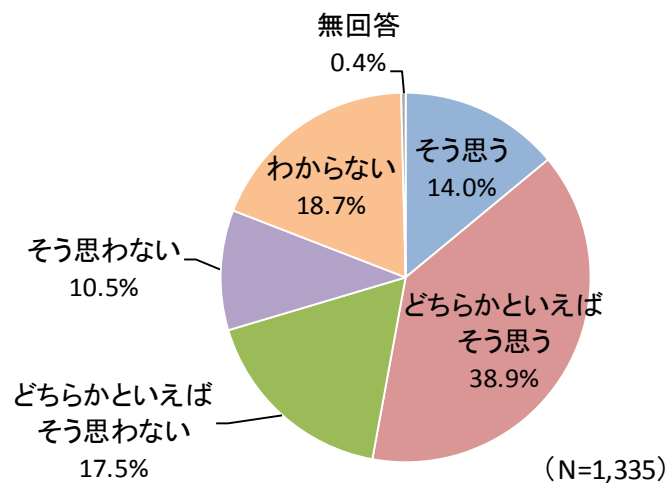


市民意識調査

政策4 はぐくみ(社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり)

● 施策4-4 スポーツを楽しむ環境づくりの推進

(28) 運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思うか

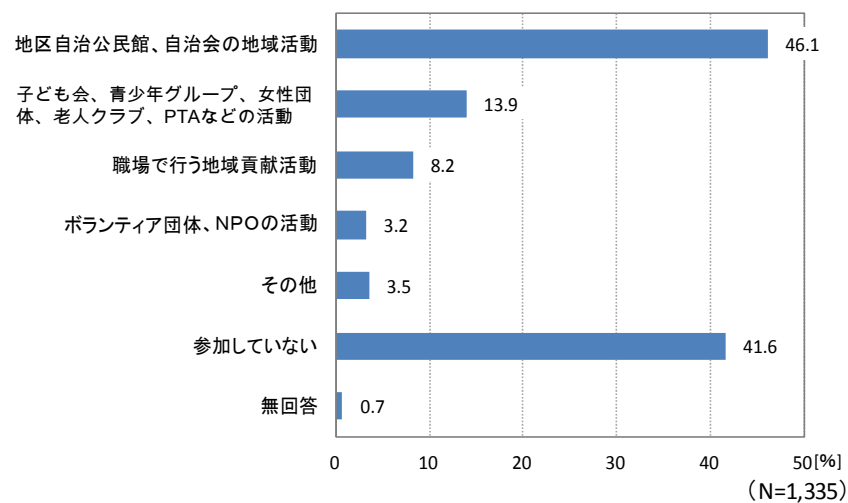


市民意識調査

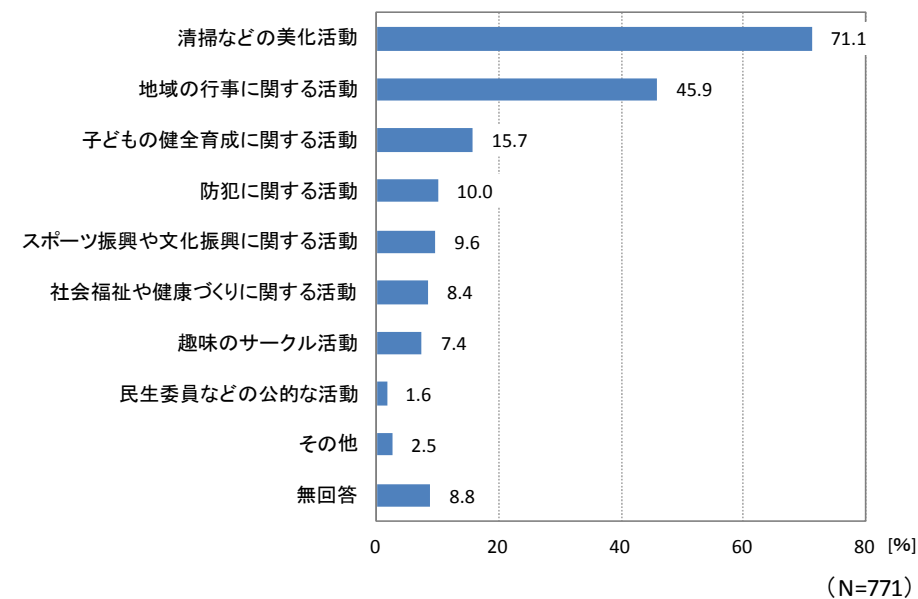
政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

● 施策5-1 市民参画でつながる地域社会の形成

(29) 地域の活動に参加しているか



(30) 参加している市民活動の内容

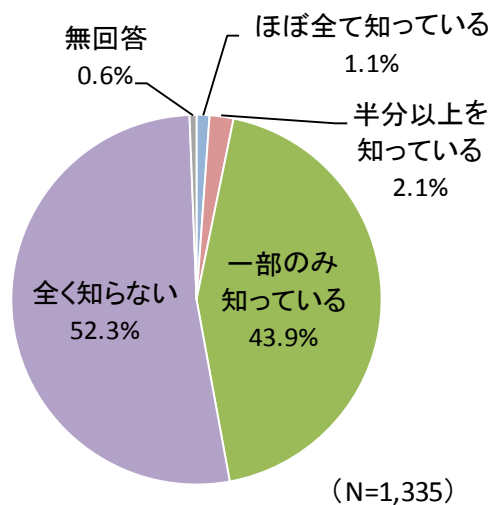


市民意識調査

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

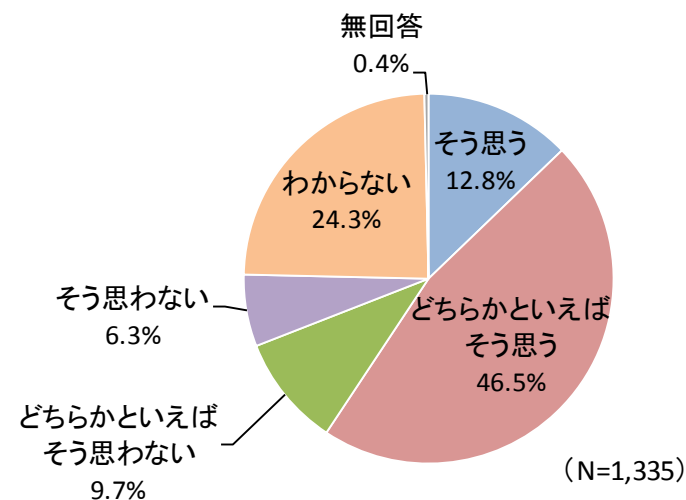
● 施策5-1 市民参画でつながる地域社会の形成

(31) 霧島市で行われている国内外の都市との交流活動を知っているか



● 施策5-2 人権の尊重と男女共同参画の推進

(32) 日々の生活の中で、身近な人々の人権が大切にされていると思うか

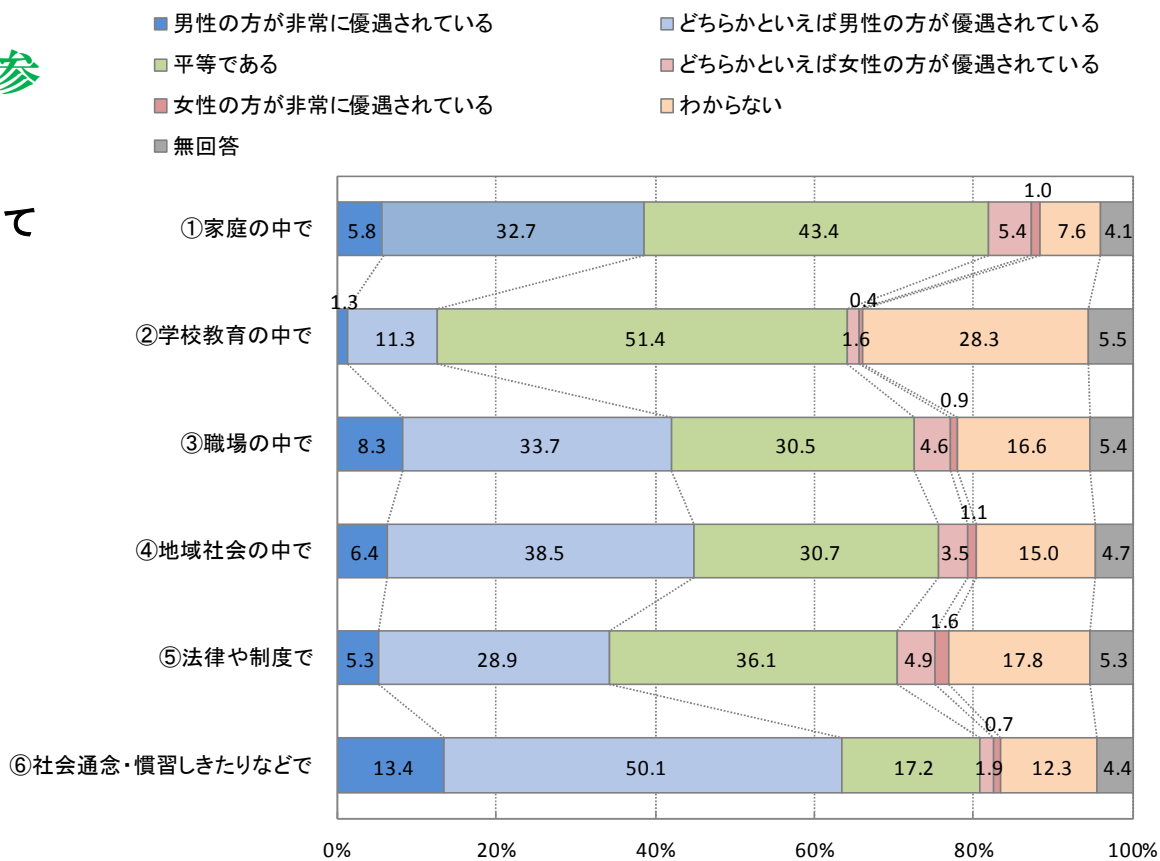


市民意識調査

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

● 施策5-2 人権の尊重と男女共同参画の推進

(33) 男女の地位が平等になっていると思うか



(N=1,335)

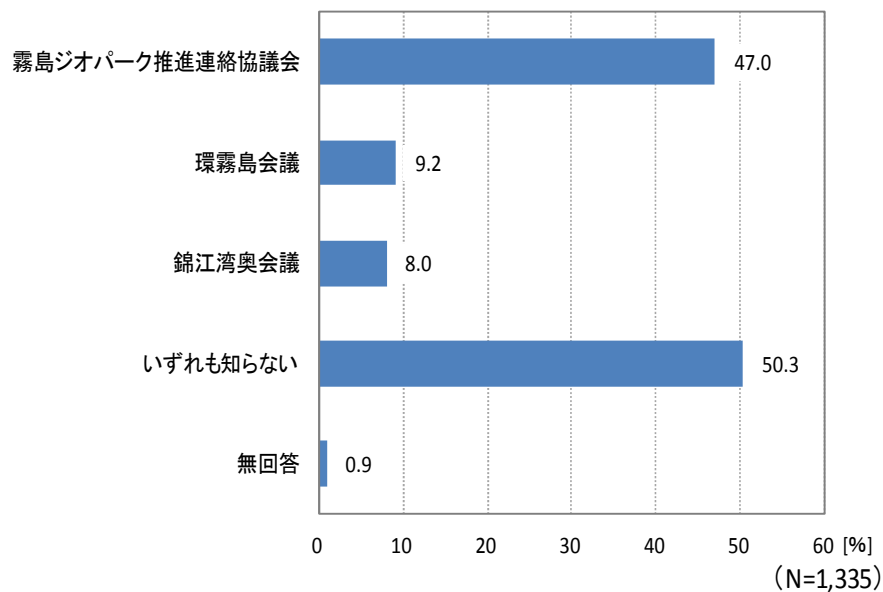
市民意識調査

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

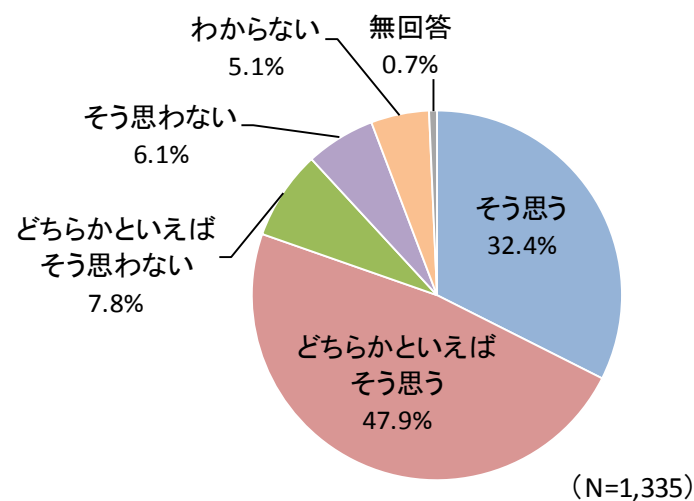
●施策5-4

市の魅力と価値を高める多角的施策 の展開

(34)環霧島会議、霧島ジオパーク推進連絡協議会、錦江湾奥会議等を知っているか



(35)現在の霧島市が住みやすいまちだと思うか



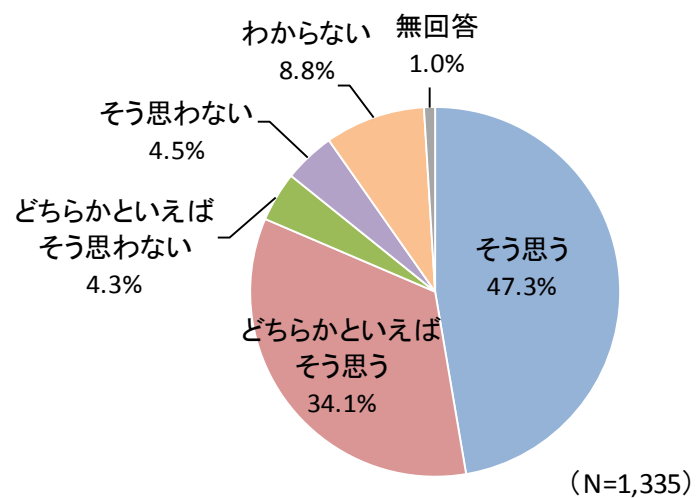
市民意識調査

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

● 施策5-4

市の魅力と価値を高める多角的施策 の展開

(36) 霧島市に住み続けたいと思うか

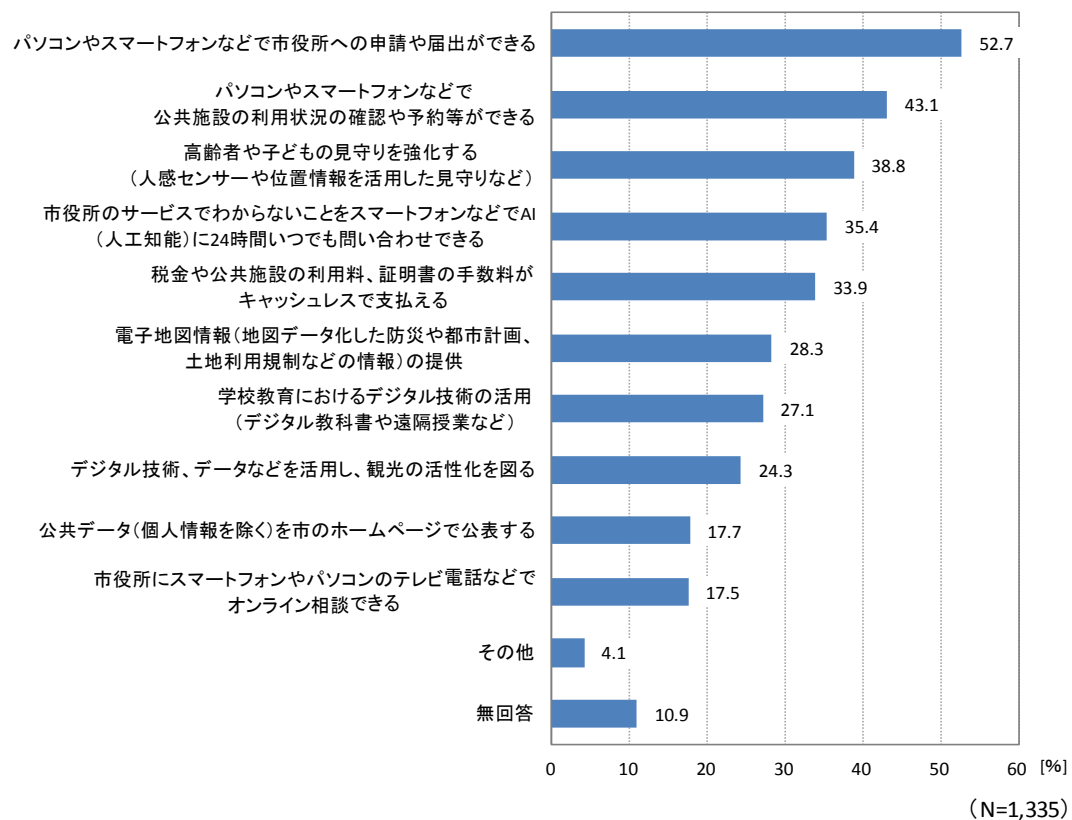


市民意識調査

政策6 しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)

●施策6-1 市民の視点に立った行政 サービスの提供

(37) 行政のデジタル化について、霧島市にどのような取組を期待するか



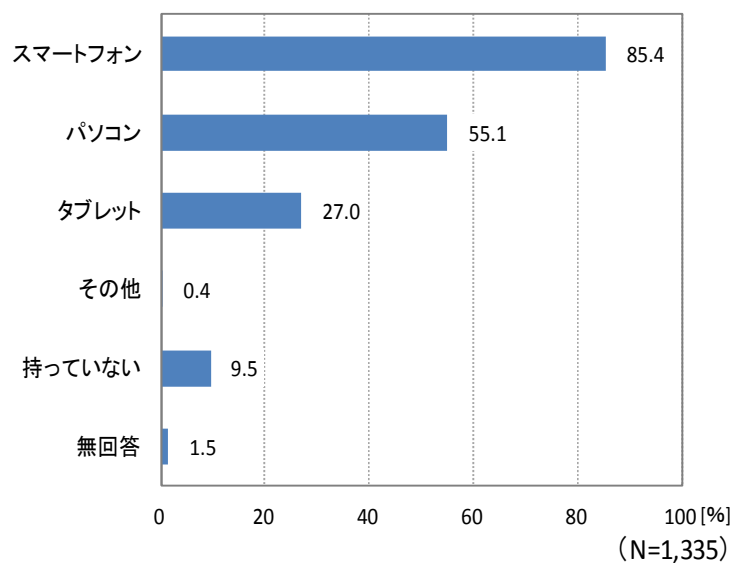
市民意識調査

政策6 しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)

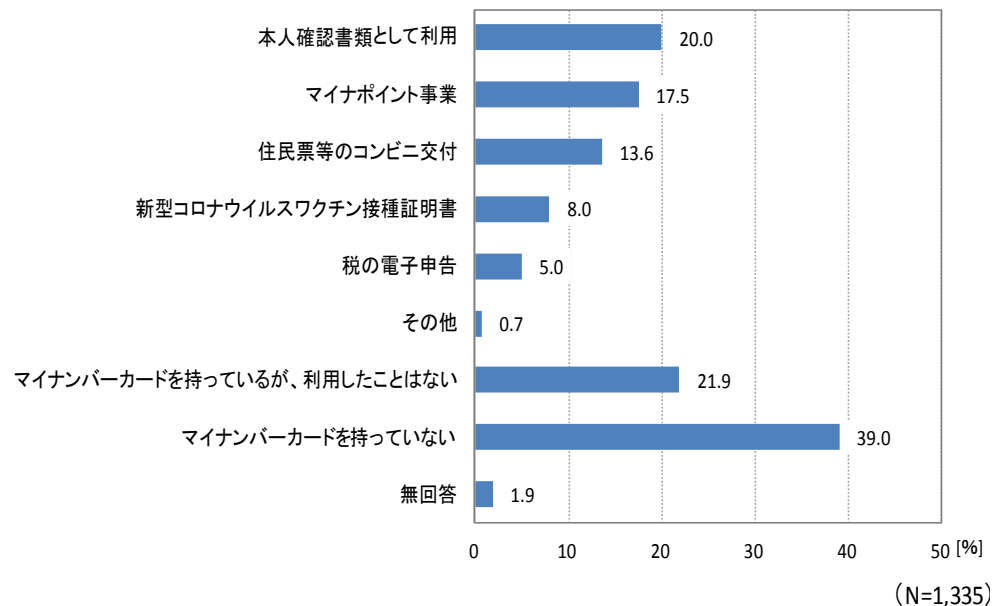
●施策6-1

市民の視点に立った行政サービスの提供

(38) インターネットを利用する機器はどのようなものを持っているか



(39) マイナンバーカードを利用してどのような行政サービスを受けたことがあるか



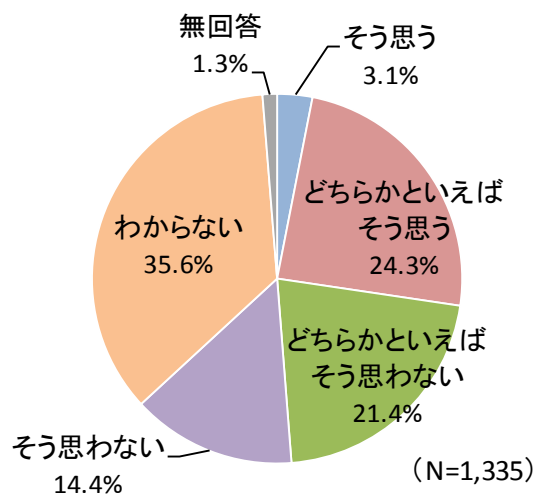
市民意識調査

政策6 しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)

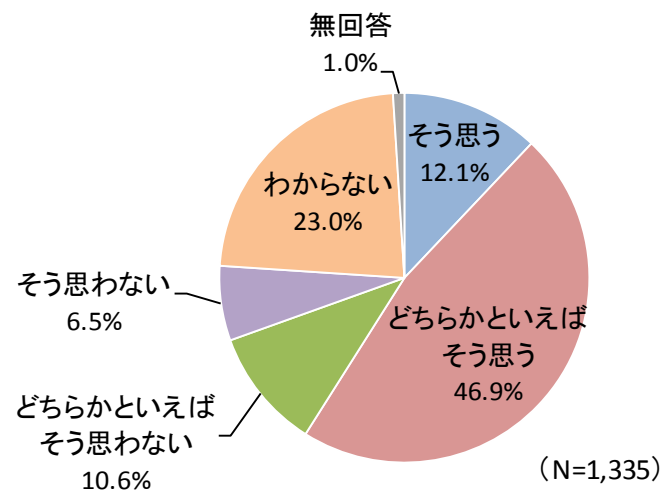
● 施策6-1

市民の視点に立った行政サービスの提供

(40) 市民の意見が市政に反映されていると思うか



(41) 霧島市役所の組織や提供される行政サービスに対して、信頼できると思うか



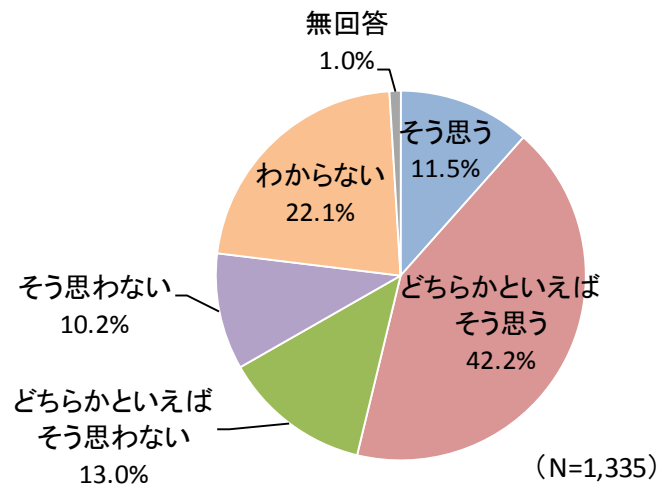
市民意識調査

政策6 しんらい(信頼される行政経営によるまちづくり)

● 施策6-1

市民の視点に立った行政サービスの提供

(42) 職員が市民の立場に立った対応を行っていると思うか

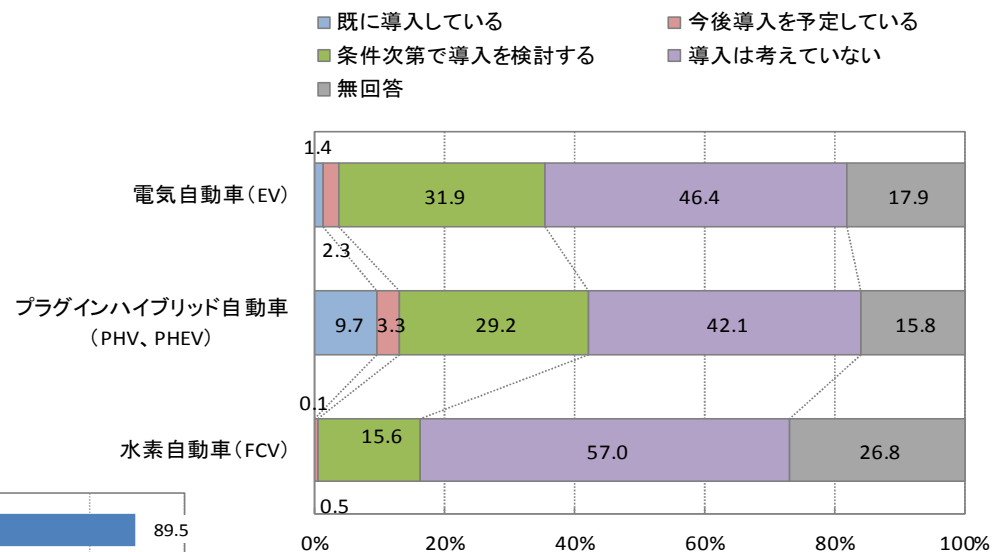
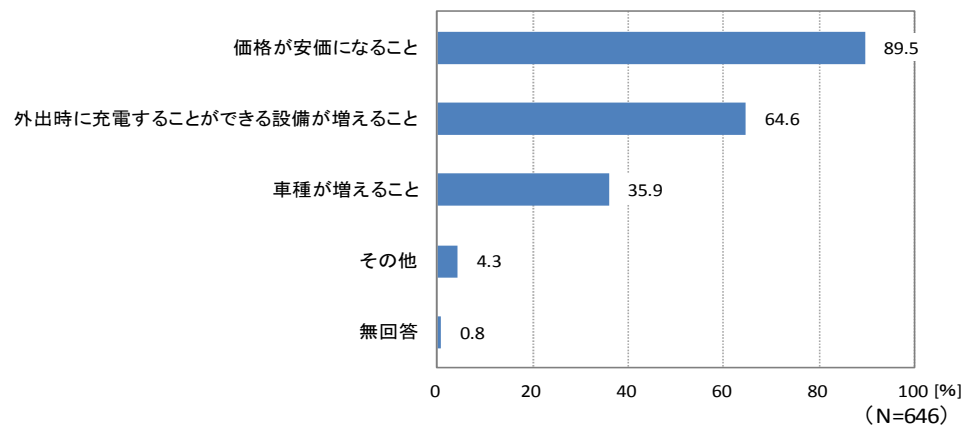


市民意識調査

その他

(43) 家庭における次世代自動車の導入状況

(44) 次世代自動車の導入の後押しとなる条件



ワークショップ

「霧島市をもっと元気にする」アイデアを募集するワークショップ『KIRISHIMAみらいトーク』を計2回実施。(YouTubeによるライブ配信も実施)

後期基本計画に掲げるべきまちの課題をテーマに、「必要な取組」「市民や団体など一人一人ができること」のアイデアをまとめ発表した。

- 期 間:令和4年5月29日、6月25日
- 場 所:市役所多目的ホール
- 参加者:20～80代の延べ52人

テーマごとにまとめたアイデアは次頁のとおり。



ワークショップ

	テーマ	必要な施策・取組
1	安心安全なまちになる	こども版BCP 子ども食堂(フードロスと協働) 子ども街灯デザイン募集 子ども110番の家の見直し・宣伝
2	若者が住みたくなるまち	ライフプランとキャリアのバランス 自然環境を生かしたワーケーション 大規模店と地元店の共存 起業スタートアップ支援
3	地域が元気になる	キャンプ場等での親子短期留学 お祭り、フェスの充実 地域おこし人材の行政支援
4	農林水産業を元気に	農業過程のSNS公開 子ども・学生による販売流通 中央高校ビジネス情報科でインフルエンサー教育 農業体験の観光メニュー化

ワークショップ

	テーマ	必要な施策・取組
5	安心して子育てできる	民間育児企業の誘致、支援 オンライン授業の充実 交流の場(無料)を多数つくる
6	高齢者が住みやすく	多世代での助け合いサポーター 移動手段の地域運営 子ども食堂の活用
7	健康に暮らし続ける	ホームドクター(かかりつけ医)を持つ 健康ポイント制度の導入 ふるさとの味の伝承(食育)
8	商工業が元気になる	企業同士をつなぐ オンリーワンのモノ、体験を発信 地域ブランドロゴの統一、発信
9	スポーツや芸術を楽しむ	縄文の森でキャンプ 霧島マラソン+温泉大会 おばあちゃんの知恵(霧島文化)知識本
10	行きたい観光地に	二次アクセスのタクシーを楽しく 下井海岸を「キリシマビーチ」に 地元の祭りを同じ日に一大イベント

ワークショップ

	テーマ	必要な施策・取組
11	環境を大切に	山の中で遊ぶ、記憶の原風景に 水道水づくりを見て楽しめるように 景観を楽しむ市街地歩き 不用品の情報共有システム(ジモティー) 3Rアプリで分けやすい出しやすいリサイクル
12	住みやすいまちへ	空き家の家財を利活用 歩行者天国、定期フリーマーケット 飲食・観光マップのロコミ、アップデートに協力
13	大人も子どもも学べる	公設民営学校でオンライン、誰でも学べる 高齢者のたまり場から語り部オンライン講座 オンライン地域の文化祭 学校の垣根を下げる、市民の先生を入れる イベント・研修会のプラットフォームアプリ
14	市役所を身近に便利に	マイナンバーでできる手続き増やす 独自の職員加点評価制度(積極性の育成) 副業推奨で民間感覚・ノウハウの獲得

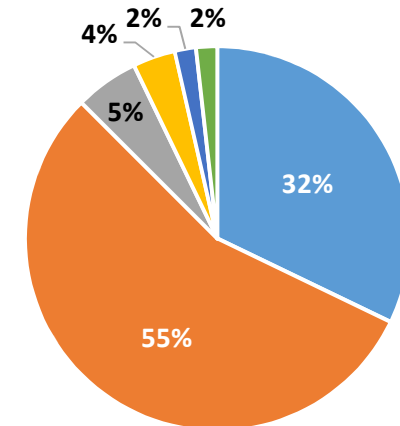
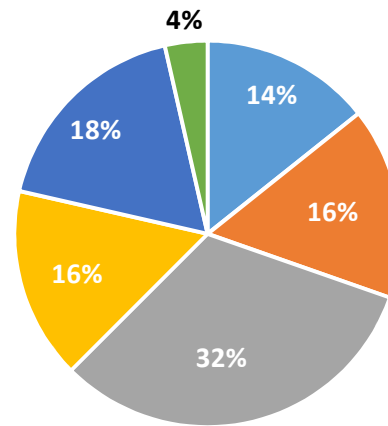
ワークショップ

(参加者へのアンケート結果)

・総合計画への関心度

(参加前) 30.4%

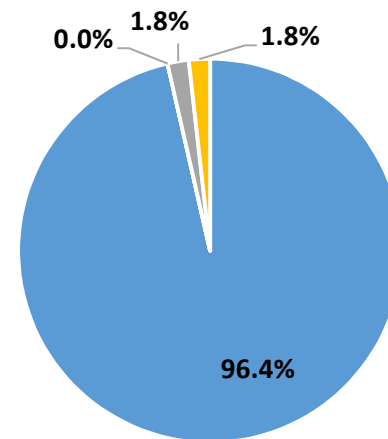
→(参加後) 87.5%



■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ 無回答

・新しい発見や気づきがあった

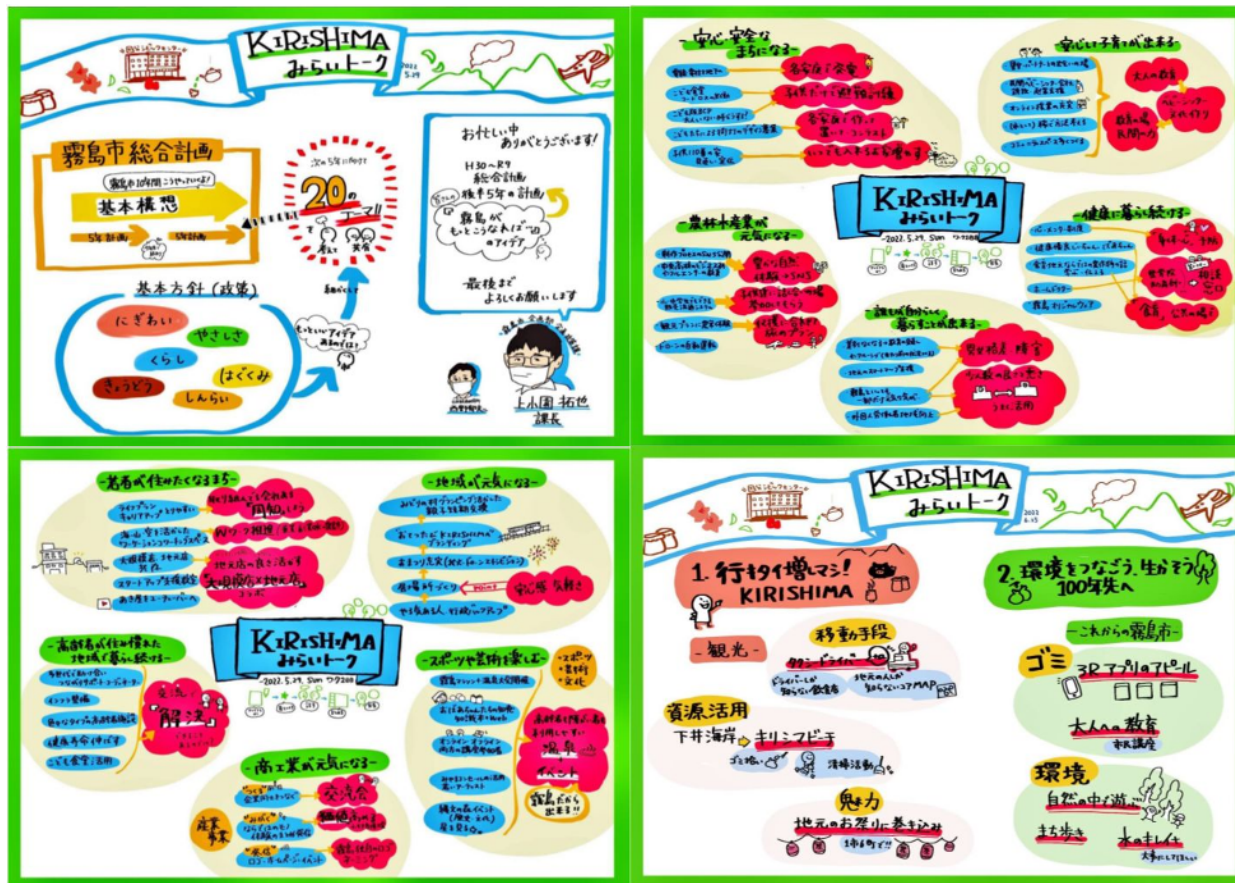
96.4%



■ あつた
■ なかった
■ どちらとも言えない

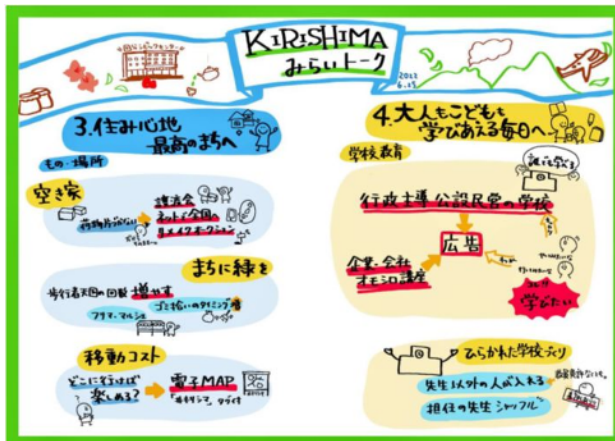
ワークショップ

出されたアイデアは、グラフィックレコーディングによりかわいくまとめられました。



ワークショップ

右下の二次元コードから、ワークショップの様様をYouTubeでご覧いただけます。



↓ 1回目



↓ 2回目



本日の内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 前期基本計画の総括報告
 - (2) 市民参画の結果報告
 - (3) 策定作業の進捗状況
 - (4) 今後のスケジュール
 - (5) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

策定作業の進捗状況

基礎調査

国・県・霧島市の計画や統計情報、その他社会情勢などを調査・分析し、後期基本計画策定に生かすレポートとして、計画策定支援事業者が報告したものの。

【調査内容】

- I 社会環境の変化や時代の潮流等の整理
- II 霧島市の現況分析

基礎調査（Ⅰ 社会環境の変化や時代の潮流等に係る整理）

<p>(1)更なる人口減少・少子高齢化の進行</p>	<ul style="list-style-type: none">●日本は本格的な人口減少社会を迎えている。●新型コロナウイルス感染症拡大を経て、東京圏への一極集中の傾向は一時的に緩和する傾向がみられている。
<p>(2)自然災害や感染症、国際情勢の変化等、多様なリスクへの対応の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none">●近年、激甚化・頻発化する自然災害に加え、感染症拡大や国際情勢に起因する経済社会への影響など、多様な不確実性・リスクと向き合う必要性が高まっている。
<p>(3)環境問題への地域レベルでの対応の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none">●近年、世界各地において異常気象等に伴う気象災害が発生しており、地球温暖化の進行に伴い、豪雨や猛暑のリスクが更に高まることが予想されている。●深刻化する気候変動への対応の必要性、政府による「2050カーボンニュートラル」宣言等を背景に、産業界や地域における脱炭素に係る取組の推進が求められている。

基礎調査（Ⅰ 社会環境の変化や時代の潮流等に係る整理）

<p>(4)社会インフラの老朽化</p>	<ul style="list-style-type: none">●公共施設、道路等の社会インフラの老朽化への対応が国・自治体において大きな課題となっている。老朽化施設が増加する一方で、市町村は財政逼迫により土木費は縮小している。●行政のみでの対応には限界があり、地域内外企業と連携した取組（官民連携手法：PPP/PFI）の推進による課題解決が期待されており、政府も積極的な支援を行っている。
<p>(5)効果的な課題解決手法としての新技術活用やデジタル化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none">●AI・IoT等の新技術の活用により、地域課題の解決、地域企業の生産性向上を図る等、Society5.0の実現に向けた取組が求められている。●コロナ禍で、テレワークや行政手続きのデジタル化など「新しい生活様式」を意識したDXの必要性が強く認識されることとなっている。
<p>(6)SDGsの理念に基づく総合的・戦略的な取組の推進</p>	<ul style="list-style-type: none">●SDGsは、政府の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても「地方創生SDGsの実現を通じた持続可能なまちづくり」の推進が掲げられている。●地域が目指す姿や取組を、SDGsと関連付けて考え発信することは、多様な主体と連携して地域課題を共有・解決するために重要な視点である。

基礎調査（Ⅱ 霧島市の現況分析）

人口	(1)市全体の人口	●人口減少・少子高齢化が進行しており、近年、その傾向は強まっている。
	(2)自然増減・社会増減の推移	●2000年代前半から2015年にかけては、社会増減の値が大きく、人口増減の主たる要因となっていたが、2016年以降は社会増減の幅は縮小し、自然減が人口増減の主たる要因となっている。
		●合計特殊出生率は、他市と比較して高いが、近年、低下している。
	(3)人口ビジョンとの比較検証	●人口ビジョン策定時点の推計結果と比較すると、総人口は推計値よりも減少している。年少人口、高齢人口が推計値を下回る傾向が見られている。
		●年代別・性別の状況をみると、特に最近5年間(2015年～2020年)の変化としては、若い女性(15～19歳)の流出の傾向が著しく、改善の傾向が見られない。自然減の大きな要因になっているものと考えられる。
(4)地区別、市街地・中山間地域別人口	●国分地区、隼人地区では人口が増加する一方、中山間地域では人口が減少している。市全体で高齢人口比率が高まる中、特に中山間地域ではその傾向が顕著である。	
(5)世帯数、世帯構成等	●世帯数が増加する一方、単独世帯の比率が高まっており、1世帯当たり人数は減少している。	
	●世帯構成をみると、最近10年間で核家族(夫婦と子)の割合が減少し、単独世帯の割合が増加している。 ●高齢単身世帯、高齢夫婦世帯の比率も高まっている。	

基礎調査（Ⅱ 霧島市の現況分析）

地域 経済		<ul style="list-style-type: none"> ●1人当たり市内総生産を他市（鹿児島市、始良市、都城市）と比較すると、霧島市の値が最も高い。経済活動の規模の大きさが霧島市の特徴である。 ●市内総生産のうち、製造業の割合が最も高く、全体の約3割を占めており、製造業の増減が市全体の地域経済に大きく影響する構造となっている。 ●製造業は世界経済などグローバルな環境変化による影響を受けやすく、機会・リスクの両面があることに留意が必要である。
産業	(1)産業・就業構造	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所数、従業者数ともに2014年から2021年にかけて減少している。 ●就従比は他市（鹿児島市、始良市、都城市）と比較して高く、霧島市は従業者が集積していることが特徴である。 ●業種別の構成比を他市と比較すると、製造業、宿泊業・サービス業の従業者の比率が高いことが特徴となっている。
	(2)産業の強みに係る分析	<ul style="list-style-type: none"> ●各産業部門の状況を分析した結果として、「製造業」と「運輸・郵便」が、霧島市にとって「強みとなりうる産業部門」としている。
	(3)産業別の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●農家や法人組織を含めた農業経営体数と経営耕地面積は一貫して減少している。農業産出額の内訳は、鶏、肉用牛、野菜等の比率が高い。 ●製造品出荷額は、電子・デバイス・電子回路製造業の占める割合が高く、近年はさらに拡大傾向にある。一方、電気機械器具製造業の割合が減少している。 ●第3次産業事業所数は、2016年から2021年にかけて大きく減少、従業者数は2011年から2014年にかけて大きく減少し、その後横ばいで推移している。

基礎調査（Ⅱ 霧島市の現況分析）

子供教育等	(1)保育園、子育て支援等の状況	●霧島市は待機児童数・潜在的待機児童数が少ない。
		●幼保連携認定こども園の整備も進んでおり、様々な世帯が幼児教育を受けやすい環境が整備されている。
		●住環境についても、家賃水準の低さや、通勤時間の短さなどの点が子育て世帯への魅力となる可能性がある。
	(2)学校の状況	●小学校児童数は、2014年以降、横ばいであったが、今後は再び減少傾向に転じると推計されている。
		●一定の児童数を維持できる国分地区や隼人地区と、減少の著しい他の地区との乖離がさらに拡大していくことが予測されている。
		●中学校児童数については、横ばい傾向が続いている。
(3)若者の就職等	●2023年～2025年にかけて一旦増加に転じると推計されているが、小学校の児童数の減少に伴い、中学校の生徒数もその後は減少に転じることが懸念される。	
	●市内の高校・大学等卒業生の市内就職率は横ばいであり、2021年は前年を上回っている。	
		●生徒・学生を対象としたアンケート調査によると、「希望する企業がないから」「都会の生活が魅力的だから」との回答が多く、更にその傾向は強まっている。

基礎調査（Ⅱ 霧島市の現況分析）

<p>共生協働</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地の一部の地区自治公民館を除く、多くの地区自治公民館で人口が減少している。全地区自治公民館89館のうち27館で高齢化率が50%を超えている。 ●自治会加入率は市全体で低下しており、国分地区、隼人地区は特に低い。 ●助金制度を活用し霧島市に移住する人は着実に増加している。 ●コロナ禍において、地区自治公民館等による活動が減少している。
<p>公共施設等の老朽化に係る状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●霧島市は、合併以前に整備された公共建築物を多く保有しており、施設総延床面積は他市（人口規模が類似する団体）と比較しても多い。公共建築物、土木インフラの老朽化に伴う維持管理コストが大きな課題となっている。 ●霧島市の財政は、少子高齢化に伴い義務的経費が拡大、投資的経費は縮小している。 ●こうした中、必要な公共施設等を確実に維持していくための方策が求められている。

表紙案

●前期基本計画の表紙の決定経緯

- ・表紙イラストを次のとおり公募した。

募集期間：平成29年7月3日(月)～9月8日(金)

応募資格：市内在住か市内在学の中学生、高校生、専門学校生及び大学生

テーマ：「わたしたちが担う10年後の霧島市」

- ・完成作品に込められた思いは、計画書の最終ページに記載(右図)。



表紙絵の説明

本表紙絵は、「わたしたちが担う10年後の霧島市」をテーマに、県立隼人工業高等学校生5人が描きました。表紙絵に込められた思いは次のとおりです。

霧島市の明るい未来をイメージして、夢や希望が伝わるようなデザインを目指しました。難しかったところは、全体的に明るい配色にしつつ、「今ある霧島市の名所」と「未来の霧島市」を交えて描いたところです。みんなで協力して完成させたこの絵を、多くの人に見て頂けたら嬉しいです。

作者：木村美里・岩元愛・竹中遥・本吉良風・雪松夢亜

表紙案

●事務局案

- 表紙イラストは、基本構想の終期である「10年後の霧島市」をテーマに描かれている。
- 後期基本計画でも同じイラストを使うことで、第二次総合計画としての一貫性を示し、基本構想を目指す意思を現すことができる。

以上のことから、

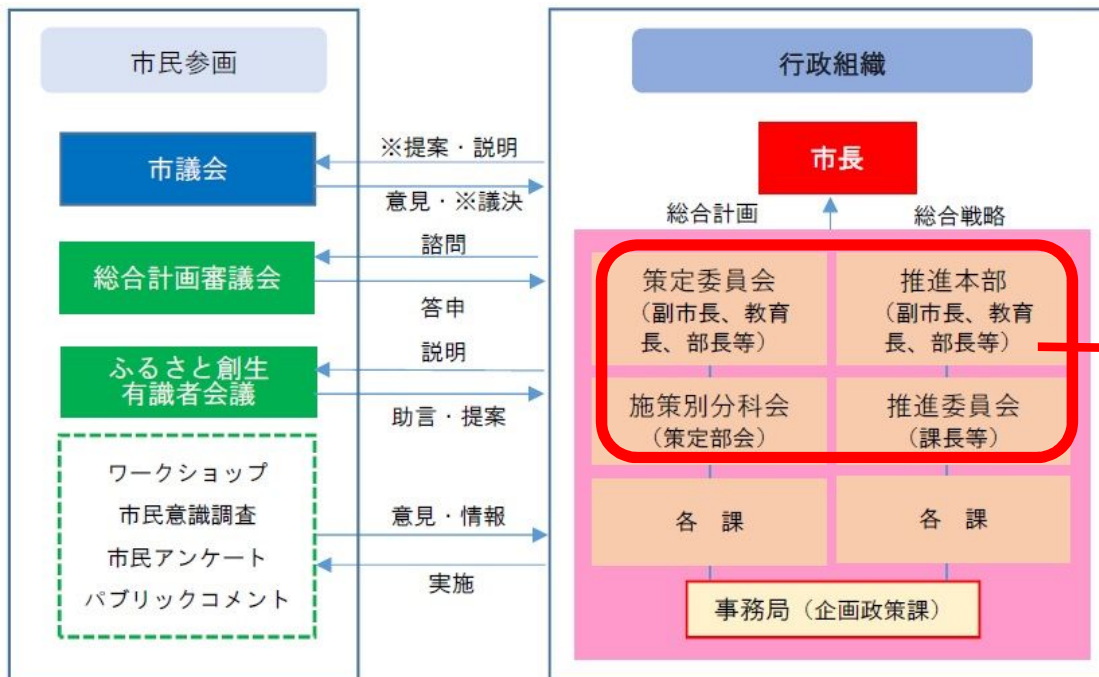
- 表紙イラストは、サイズも含め変更せずに、そのまま使用する。
- タイトルや文字の色**は「**緑色**」に変更する。緑色は、霧島市の魅力である「自然」を表し、市章で2番目に大きな色であるため。



基本計画の策定

現在、行政組織内の「策定委員会」「施策別分科会」等で、「後期基本計画」部分の策定作業を進行中。

■策定体制



※は総合計画の基本構想のみ必要

■総合計画全体構成案

第二次霧島市総合計画	表紙
	第1章 序論
	第2章 基本構想
	第3章 後期基本計画
重点施策	第4章 第3期総合戦略
その他	資料編
その他	裏表紙

基本計画の策定

●策定作業は、「後期基本計画策定シート」(図)を基に、「施策の現状と課題」「施策で目指す姿」「施策の目標達成のための基本事業(「みんなができること」含む)」「成果指標」等を調整している。

●シートには、「前期基本計画の総括」や「市民参画・意識調査」等も参考情報として整理している。(図・赤枠参照)

第二次霧島市総合計画 後期基本計画 策定シート ※黄色セルを入力してください。 ※文字数制限は目安です。紙面イメージを出力し、枠内に収まるように調整してください。

政策	5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)		参考(前期計画での施策体系)
施策	5-3 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開	5-4 市の魅力と価値を高め	必ず枠内に収まるよう、一文で
基本事業	①産官学との連携の推進	③産官学との連携の推進	
事業の対象	行政、市民、企業、団体等	事業の意図	連携により、より効果的・効率的に事業を展開する。
主務課	企画政策課	関係課	⑤ 総合戦略
総括シートから抜粋	4年間の取組内容(A) ■企業や教育機関等との連携協定を推進し、4年間で9件の包括連携協定を、26分野の個別協定を締結した。 ■包括連携協定に基づく具体的な取組は、2018年度の目標8件から25件に大幅に増加した。 「事業の対象」が「事業の意図」の状態となるように「基本事業」を行うという形になるように記入する	4年間の取組成果(B) ■様々な行政情報の周知や、各種講座、新型コロナウイルスリスクオン 集団接種の運営支援など、営業網や人材など企業等が持つ強みを活用した具体的な取組を推進することができた。 この基本事業の関係課と思われる課を、施策別分科会の関係課の中から記入	次期計画への課題(C) ■現在連携して取り組んでいる事業の更なる展開を定める必要がある。 ■民間の強みを行政サービスに生かせるような分野での新たな連携に向けて、調査、研究を進める必要がある。 総合戦略に該当すると思われる基本事業には「○」が入っている。総合戦略から外すべきと考える場合は、×を入力
	基礎データから ・持続可能な地域社会(SDGs)の構築に向け、行政においては、地域内外の多様な主体の活力を呼び込むため、市が向かうべき方向性(ビジョン)を発信していくことが求められている。 ・地域内外の企業や地域の関係主体が協働により課題解決に取り組むきっかけづくり、多様な主体が連携した取組を推進するための支援(各種情報提供や共創の場づくりなど)が期待される。	市民意識調査・市民アンケートから 記載なし	みらいトーク・青少年議会から 記載なし

策定シート様式

策定シート様式は、上記の表を基にした詳細なフォーマットです。赤枠で囲まれた部分は、前期計画の総括や市民参画・意識調査の結果を参照するための欄です。また、黄色のセルは入力が必要な箇所を示しています。右側の欄には、事業の進捗状況や成果指標に関する詳細な記入欄があります。

基本計画レイアウト案

- 前期基本計画との統一感を出すため、記載項目(「施策で目指す姿」等)は変更せず、4ページで1施策を記載する。
- 各記載項目の内容は「箇条書き」とする。
 - ・文章が簡潔になり、意図がはっきりする。
 - ・「目指す姿」【目標】→「現状と課題」【課題】→「基本事業」【手段】→「成果指標」【チェック】という関係性を明確にするため。
(P64の②③④部分)
- 各施策にSDGsのアイコン(17のゴールを表すマーク)を表示する。
(P64の①部分)
- 施策の内容を理解してもらうために、写真やデータとなるグラフ等の情報をできるだけ多く入れる。
(P64,65の⑥⑩⑪⑫部分)

基本計画レイアウト案

政策5 きょうどう(市民とつくる協働と連携のまちづくり)

5-3 市の魅力と価値を高める多角的施策の展開



①

③ 施策の現状と課題

【官民連携の拡大】

(現状) 企業や教育機関等との連携協定を推進し、営業網や人材など企業等が持つ強みを活用した具体的な取組を推進してきました。
(課題) 官民連携により、民間の技術力や大胆な発想等を取り入れた行政サービス等の創出が求められています。

【広域連携の多様化】

(現状) 情報通信手段の急速な発展・普及に伴い、市民の生活圏や経済圏は、既存の行政区域を超えて広がっています。
(課題) 各自自治体の地域資源を活用し、ともに魅力ある地域づくりを進めていく必要があります。

(課題) 霧島ジオパークは、「ユネスコ世界ジオパーク」認定を目指す上で地域間や民間団体との連携による更なる広域的な活動に向け、課題の把握や問題解決のための取組を推進していく必要があります。

【まちのファンを増やす】

(現状) シティプロモーションの一つ「キシマイスター認定制度」を推進し、小中学校を中心に褒め合う活動が定着しています。
(課題) 市の発展には、まちづくり、観光、移住定住等の各施策と市のブランド力を高めるシティプロモーションとの連動を強化



⑥

年度	認定者数	実施校数
2017年度	1,000名	10校
2018年度	1,200名	12校
2019年度	1,500名	15校
2020年度	1,800名	18校
2021年度	2,000名	20校
2022年度	2,200名	22校
2023年度	2,500名	25校
2024年度	2,800名	28校
2025年度	3,000名	30校
2026年度	3,200名	32校
2027年度	3,500名	35校
2028年度	3,800名	38校
2029年度	4,000名	40校
2030年度	4,200名	42校

【掲載情報】
※1～令和3年度実績
※2～令和4年度実績
※3～令和5年度実績
※4～令和6年度実績
※5～令和7年度実績
※6～令和8年度実績
※7～令和9年度実績
※8～令和10年度実績
※9～令和11年度実績
※10～令和12年度実績
※11～令和13年度実績
※12～令和14年度実績
※13～令和15年度実績
※14～令和16年度実績
※15～令和17年度実績
※16～令和18年度実績
※17～令和19年度実績
※18～令和20年度実績
※19～令和21年度実績
※20～令和22年度実績
※21～令和23年度実績
※22～令和24年度実績
※23～令和25年度実績
※24～令和26年度実績
※25～令和27年度実績
※26～令和28年度実績
※27～令和29年度実績
※28～令和30年度実績

② 施策で目指す姿

- ・産官学等が一体となった課題解決や、行政界を越えた広域連携を推進することで、多様化・高度化する市民ニーズに対して効率的かつ効果的なサービスを提供します。
- ・霧島ジオパークを構成する地域の持続可能な発展を目指し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動を推進する。
- ・市民参加型の情報発信の強化など、市民と一体となったまちづくりと魅力の発信に取り組みます。

④ 施策の目標達成のための基本事業

① 産官学との連携の推進

- ・行政サービスのみでは補完できない分野での新たな連携に向けて、調査、研究を進めます。
- ・世界的大企業や高い技術力をもつ先端企業が立地している等の本市の優位性を最大限に活用し、地域の多様な人材が活躍できる仕組みづくりに努めます。



⑤ ② 広域的な連携の推進

- ・環霧・湾奥会議による各種実施事業の成果を検証し、広域連携による強みを生かし、多角面で効果的な事業を推進します。
- ・環霧島会議と霧島ジオパーク推進連絡協議会の統合を検討します。
- ・世界ジオパーク認定に向け、桜島・錦江湾と霧島の両ジオパークを統合したエリアでの活動を進め、ジオパークネットワーク活動にも参画します。



⑥

③ シティプロモーションの推進

- ・「褒め合うまち」をコンセプトとするキシマイスター活動を生かし、市民のまちへの愛着度を高め、市民と行政がともに本市の魅力づくりを行います。
- ・本市の認知度向上を図るため、SNS等を活用した情報発信を市民とともにさらに推進します。



【掲載情報】
※1～令和3年度実績
※2～令和4年度実績
※3～令和5年度実績
※4～令和6年度実績
※5～令和7年度実績
※6～令和8年度実績
※7～令和9年度実績
※8～令和10年度実績
※9～令和11年度実績
※10～令和12年度実績
※11～令和13年度実績
※12～令和14年度実績
※13～令和15年度実績
※14～令和16年度実績
※15～令和17年度実績
※16～令和18年度実績
※17～令和19年度実績
※18～令和20年度実績
※19～令和21年度実績
※20～令和22年度実績
※21～令和23年度実績
※22～令和24年度実績
※23～令和25年度実績
※24～令和26年度実績
※25～令和27年度実績
※26～令和28年度実績
※27～令和29年度実績
※28～令和30年度実績

本日の内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 前期基本計画の総括報告
 - (2) 市民参画の結果報告
 - (3) 策定作業の進捗状況
 - (4) 今後のスケジュール
 - (5) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

今後のスケジュール

策定スケジュール(案)

主な作業項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査	市民意識調査・市民アンケート		実施	仮報告	報告								
	ワークショップ			1回目	2回目	報告							
	基礎調査(社会経済、国県の動向、市の現況)		調査		納品								
進行管理	前期基本計画の進行管理(分科会)			施策評価		総括(行政経営会議)							
	第2期総合戦略の進行管理			効果検証		総括							
策定作業(分科会)	後期基本計画の施策・成果指標等の調整	施策体系案	作業シート		施策別分科会(施策内容・指標調整)								
	第3期総合戦略の施策・KPI等の調整		施策紐付け		地方創生推進委員会(施策内容・KPI調整)								
部長級会議	総合計画策定委員会&地方創生推進本部会議		2回目		3回目	4回目	5回目			6回目		7回目	8回目
外部委員会議	総合計画審議会				1回目(7/7)	2回目(8/25)		3回目(10/27)	4回目(11/10)			5回目(2/2)	6回目(3/9)
	ふるさと創生有識者会議				1回目			2回目				3回目	
その他	パブリックコメント									公開			
	議会対応									報告			報告
	レイアウト・印刷(KER)								中間報告書(第3,4回審議会用)			業務報告書(完)	

審議会スケジュール(案)

第3回目 10月27日

①諮問

②計画(素案)審議

第4回目 11月10日

①計画(素案)審議

～パブリックコメント～

第5回目 2月2日

①計画(素案)審議

第6回目 3月9日(最終回)

①答申